

## 平成 28 年度公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会研修会 事前アンケート結果報告書

### 『広報力が図書館を変える－図書館員のための PR 実践講座－』

- 1 日 時 2016 年 10 月 7 日（金）13：00～16：35
- 2 主 催 公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会
- 3 後 援 中国四国地区大学図書館協議会  
愛媛地区大学図書館協議会
- 4 会 場 愛媛大学中央図書館 4 階 視聴覚室
- 5 対 象 大学図書館職員、公共図書館職員、学校図書館職員、専門図書館職員等
- 6 内 容 基調講演、ワークショップ  
講師：仁上幸治 氏（図書館サービス計画研究所代表）
- 7 参加者数 25 名（大学図書館 17 名（内協議会加盟館 11 名）、公共図書館 8 名）
- 8 回答者数 23 名（回答率 92%）

研修会用 HP：<http://www.epu.ac.jp/library/topics/2016/08/28-1.html>

■回答要領

★必ず下記の課題文献を注も含めて熟読してから回答してください。

(注の文献自体を読むかどうかは任意)

仁上幸治. 研究文献レビュー「図書館の「広報」は進化しているか？

—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—

『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24.CA1728 :

[全文]HTML版 : <http://current.ndl.go.jp/ca1728>

PDF版 : <http://current.ndl.go.jp/files/ca/ca1728.pdf>

- ・館についての設問は、ご自身の所属館（中央館・地域館等）についてお答えください。
- ・図書館職員以外のかたは、広報の実践例などは未回答でもかまいません。
- ・あまり厳密に考えず、設問文からわかる範囲でお答えいただければ十分です。
- ・実施していなければ「1」、最大限に実施していれば「5」。機会がない、設問の意味が不明などの場合は「N/A」で結構です。
- ・記述部分は、念のため、控えを取って保存しておいてください。
- ・不明な点がある場合は、主催者へメールで質問してください。主催者から講師へまとめて転送されます。

■注意

- ・集計結果は主催者および参加者のあいだで共有され、適切な編集後に一般公開されます。
- ・集計結果および回答内容の一部が当日の講演の時間に投影されることがあります。また、館名・個人名が特定されない形で研究論文等に引用されることがあります。
- ・上記の目的以外に公表されることはありません。

◎主催者

公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会

会長館 愛媛県立医療技術大学図書館

〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田 543 番地

TEL 089-960-0061

担当： 泉 浩

◎担当講師：仁上幸治

他にも講師ホームページで自著・講演録などの全文を公開しています。

ダウンロードしてご活用ください。

<https://sites.google.com/site/nikamik23/works>

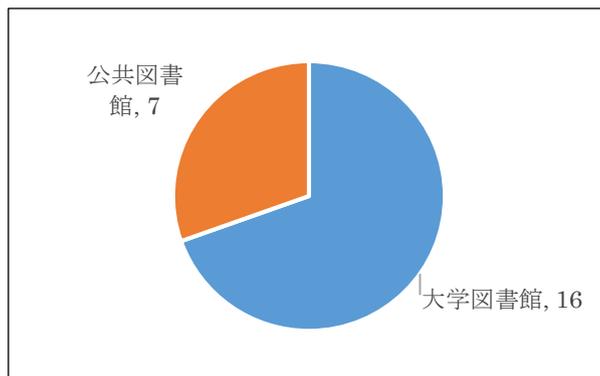
2016年8月9日（火）作成

## 【0】回答者編

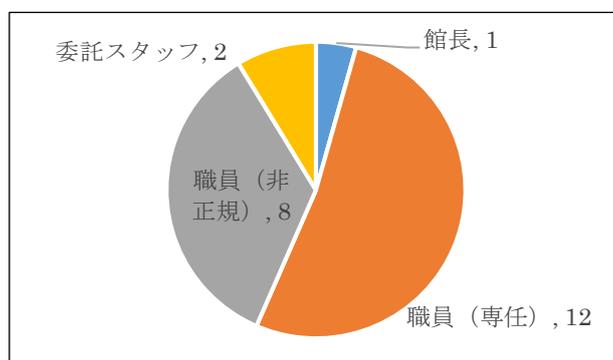
0-1. 氏名

0-2. 氏名フリガナ

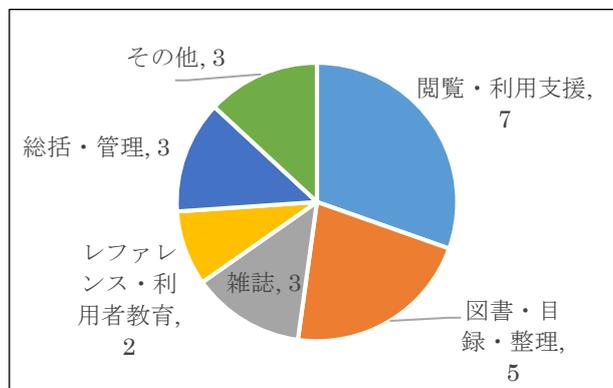
0-3. 所属機関



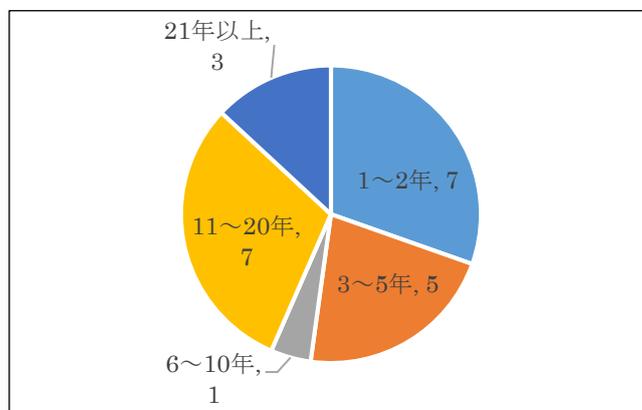
0-4. あなた（回答者）のポジション



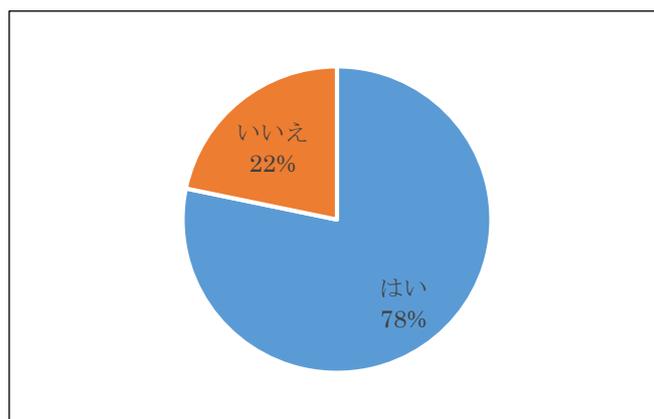
0-5. あなたの主な担当業務



0-6. 図書館勤務経験（通算）



0-7. 職場（会社）のアカウントを持っていて、メール等を日常的に活用していますか？



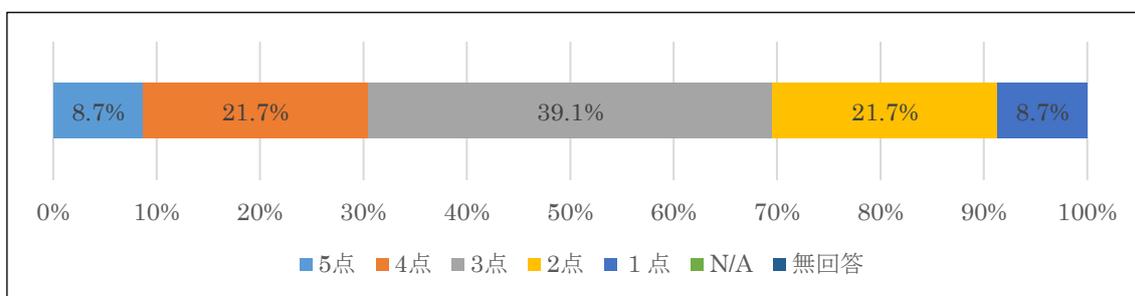
## 【1】現状

- ・館についての設問は、ご自身の所属館（中央館・地域館等）についてお答えください。
- ・以下、便宜上、図書館とは図書室などの類似の名称の施設を含むものとします。
- ・利用者とは、顕在的潜在的利用対象者全体を指すものとします。
- ・評価点は 5 点満点で近いものを選択してください。
- ・実施していない項目には「1 点」、何らかの形で実施していれば「2 点」以上をつけてください。
- ・回答しにくい項目には「N/A」をつけてください。

### ■ 立地

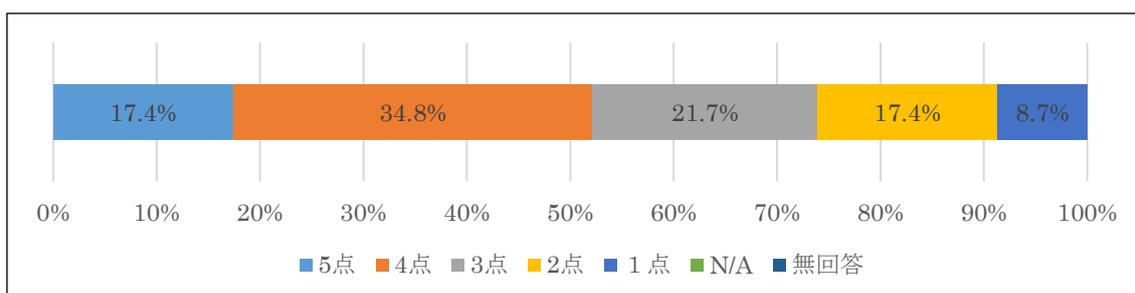
1-1. 図書館（室）は動線上、多くの人を通る最も便利な場所にある。

(5 点満点)・・・平均 3.00



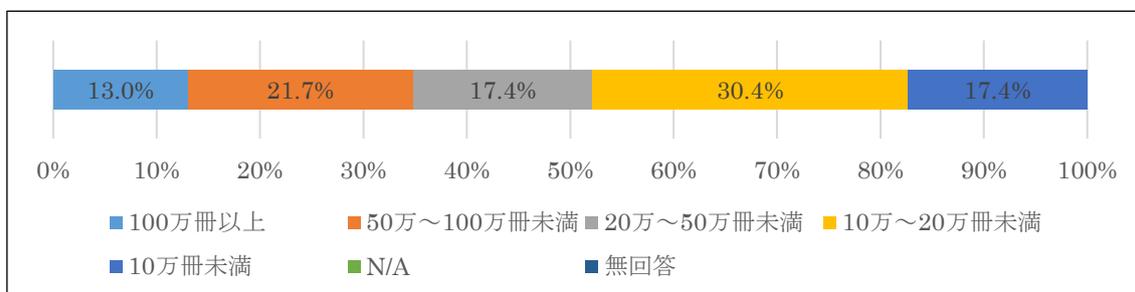
1-2. 図書館（室）の出入口は、わかりやすく入りやすい場所にある。

(5 点満点)・・・平均 3.35



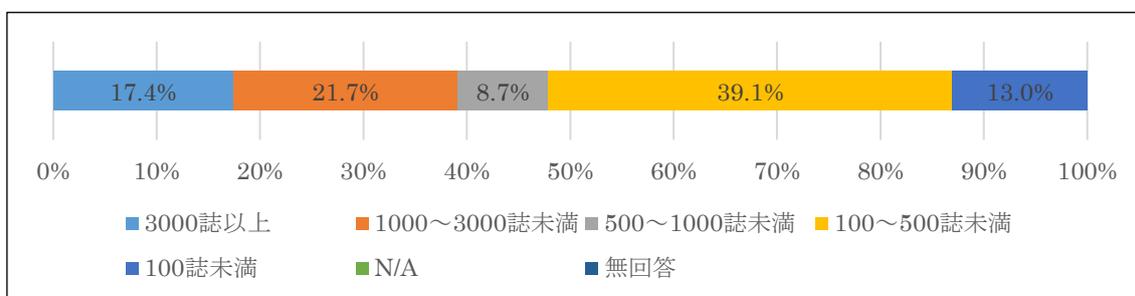
## ■ 蔵書・利用度

### 1-3. 蔵書数（図書）



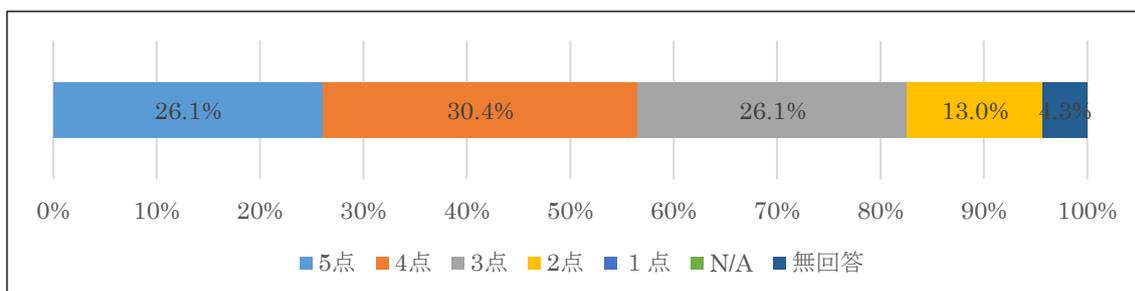
### 1-4. 雑誌タイトル数

継続受入中のプリント版のみのジャーナル・マガジンなどの総数



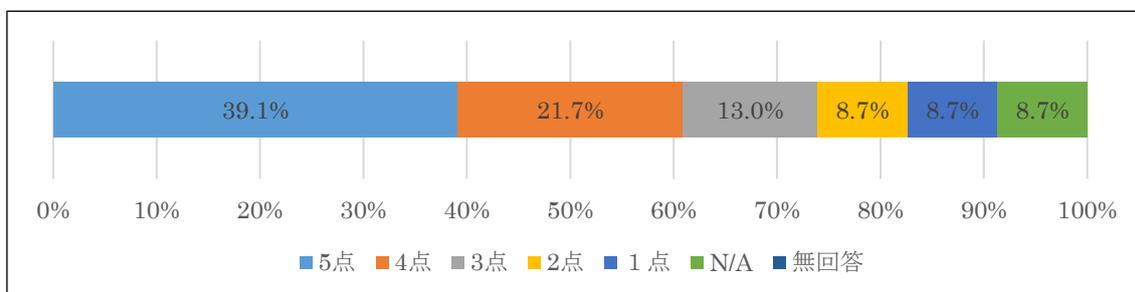
### 1-5. PC（備え付け/持ち込み）が自由に利用できる（設備、数量）。

（5 点満点）・・・平均 3.73



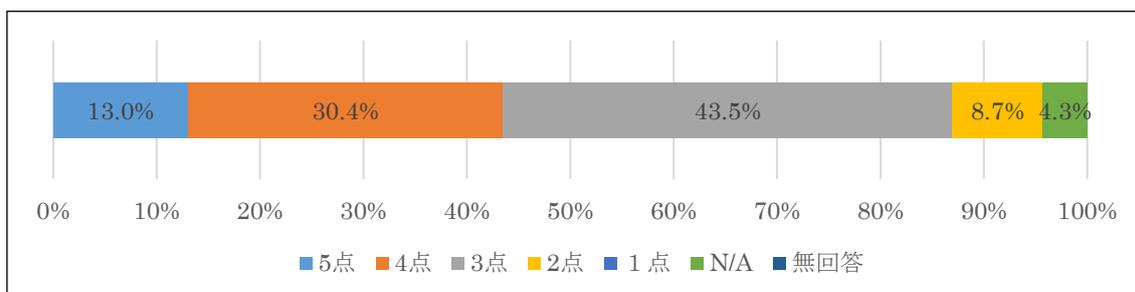
1-6. 館内設置のコピー機が自由に利用できる。

(5 点満点)・・・平均 3.81



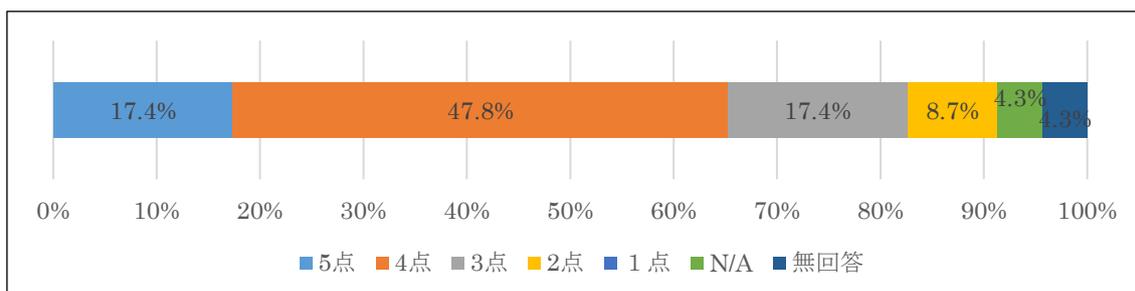
1-7. 授業課題解決（レポート・プレゼン資料作成等）によく利用されている。

(5 点満点)・・・平均 3.50



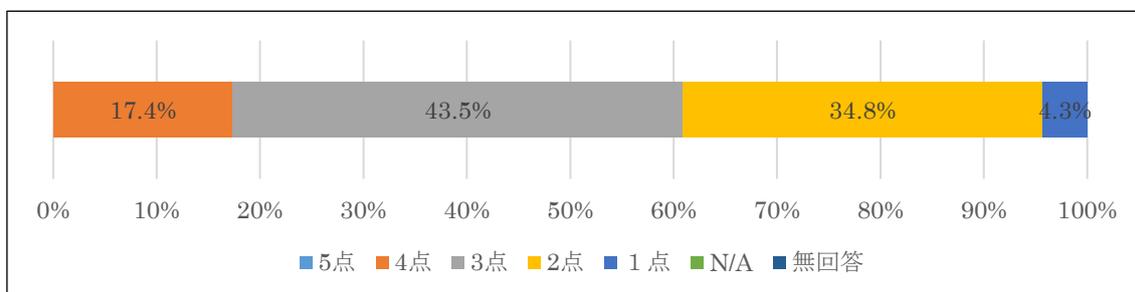
1-8. 試験対策（定期試験・就職試験等）によく利用されている。

(5 点満点)・・・平均 3.81



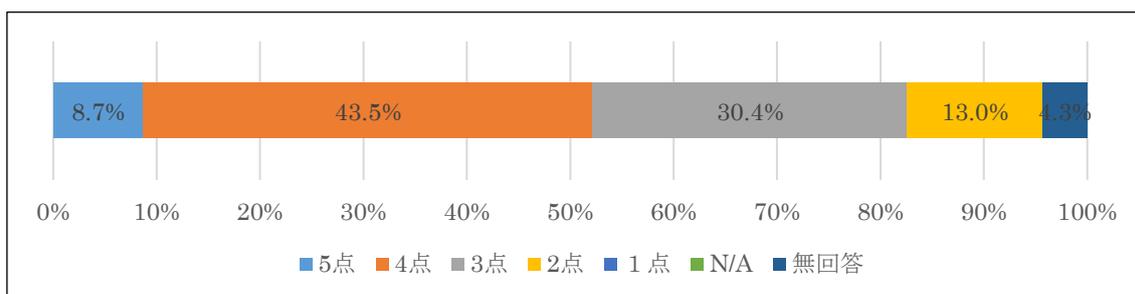
1-9. 進路情報や就職情報収集によく利用されている。

(5 点満点) . . . 平均 2.74



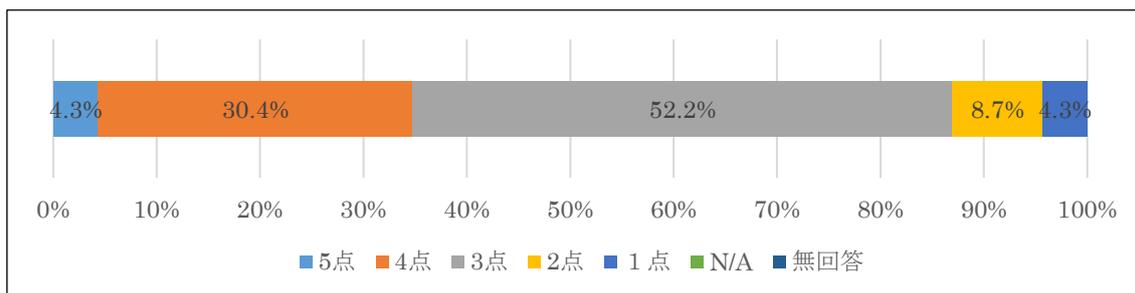
1-10. 読書活動（娯楽・趣味・教養等）によく利用されている。

(5 点満点) . . . 平均 3.50



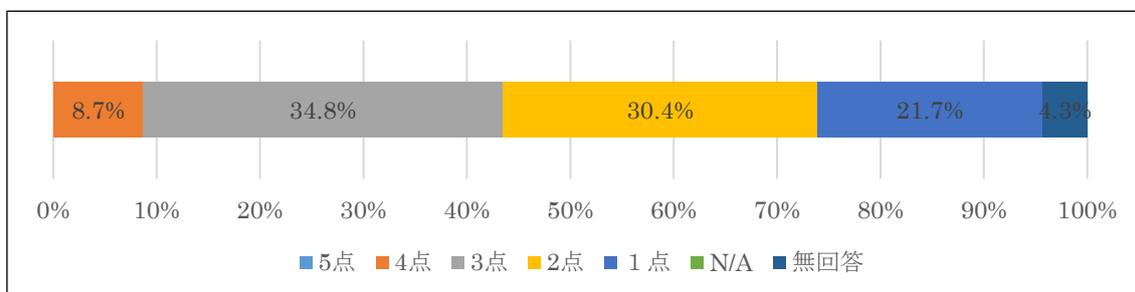
1-11. 憩いの場・リラックスできる場所としてよく利用されている。

(5 点満点) . . . 平均 3.22



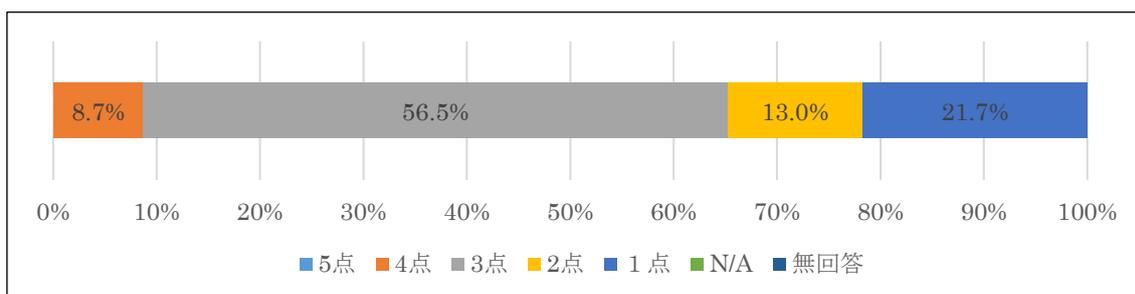
1-12. 地域活動（趣味・学習・町おこし等）によく利用されている。

(5 点満点)・・・平均 2.32



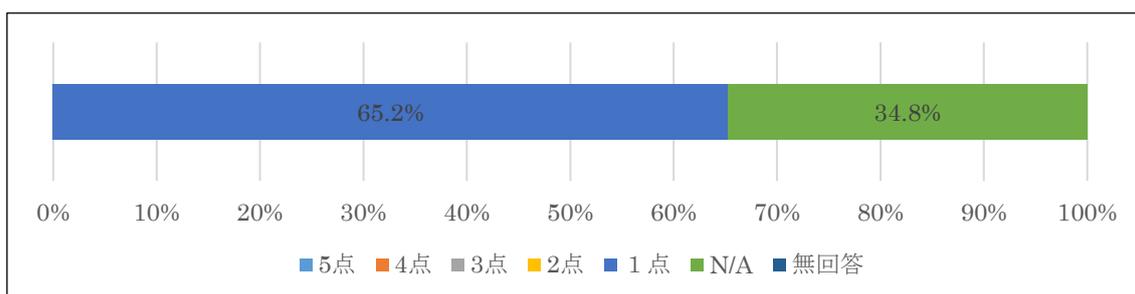
1-13. 親組織のスタッフ（首長部署・役所職員・大学設置者、理事、大学職員等）によく利用されている。

(5 点満点)・・・平均 2.52



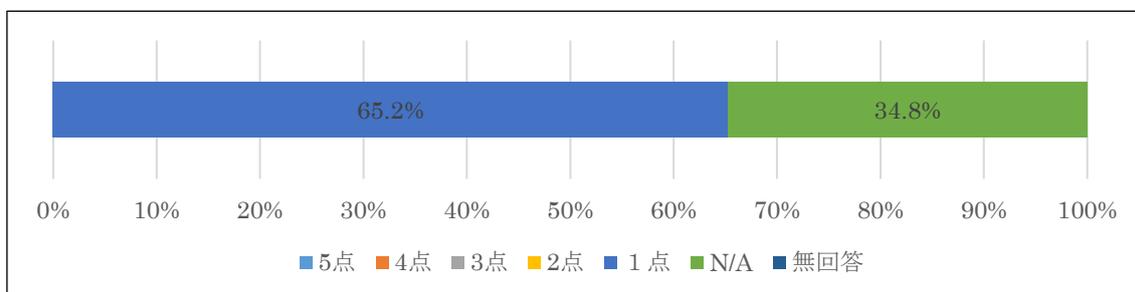
1-14. facebook の館の公式アカウントを活用している。

(5 点満点)・・・平均 1.00



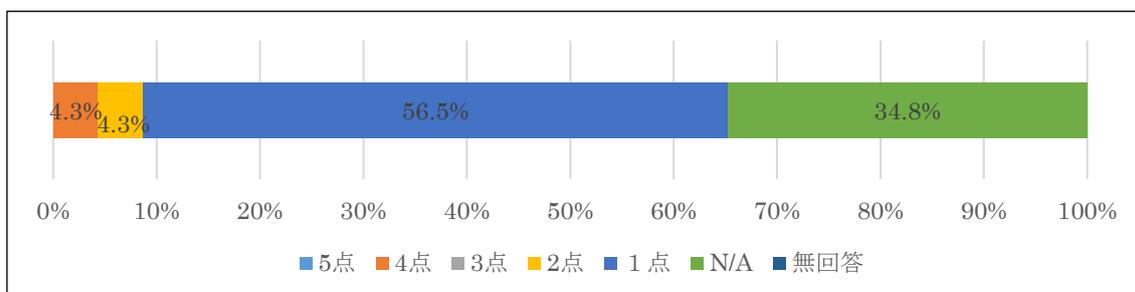
1-15. facebook の個人アカウントを公式に業務に活用している。

(5 点満点)・・・平均 1.00



1-16. facebook の個人アカウント非公式に業務に活用している。

(5 点満点)・・・平均 1.27



## 【2】図書館ブランディング編

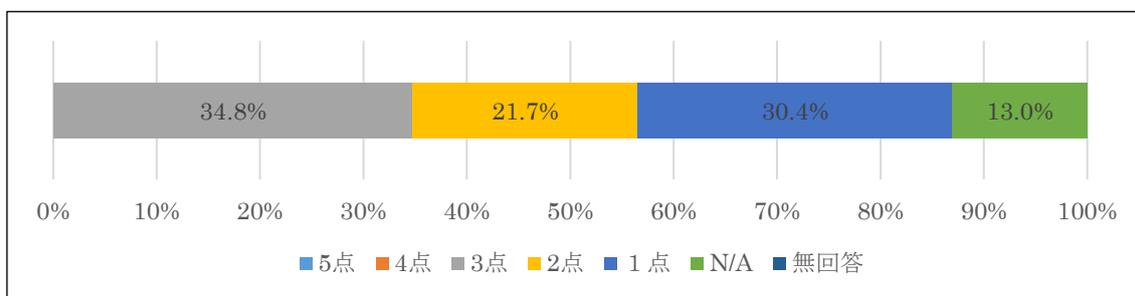
図書館のミッションや運営方針を踏まえたうえで、図書館活動全体のデザインコンセプトを決めて各種のビジュアル媒体をデザインすることによって、図書館の存在をひとつのブランドとして関係者に印象づける活動。

### ■ コミュニティ内認知度編

コミュニティとは、館種により、学校内、地域内、社内などと解釈してください。

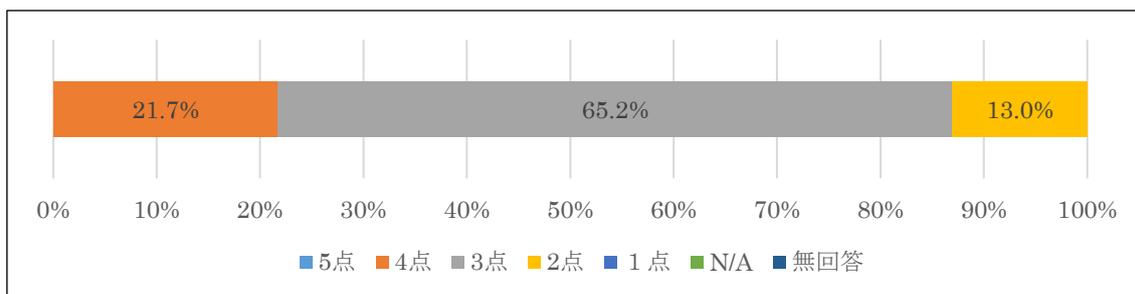
2-1. 図書館と図書館員の存在感を利用者に印象づけるための総合的な政策としてブランディング活動を積極的に進めている。

(5 点満点)・・・平均 2.05

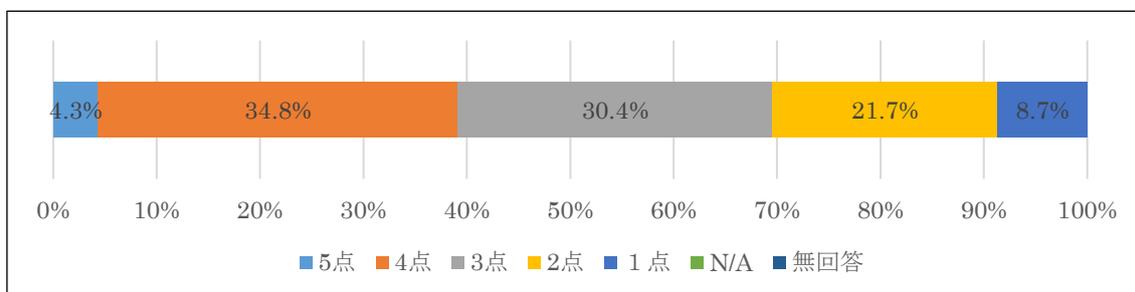


2-2. 図書館は、学習・教育・研究を支援する重要な施設・部署としてコミュニティ内で実質的に期待されている。

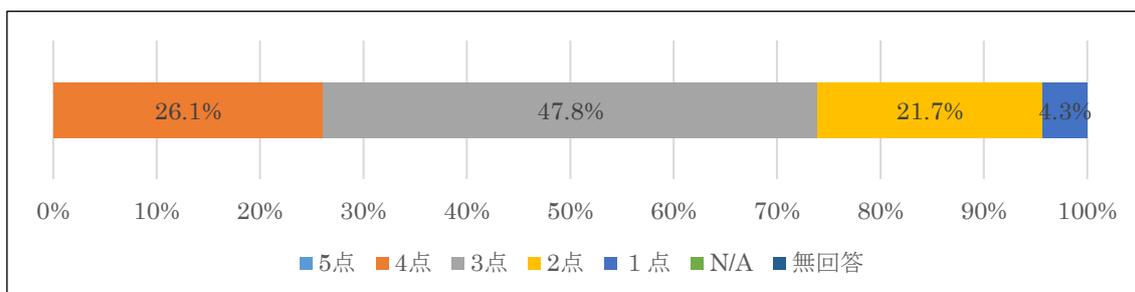
(5 点満点)・・・平均 3.09



2-3. 図書館は、図書館利用教育・情報リテラシー教育を担う重要な施設・部署として実質的に認識されている。 (5 点満点)・・・平均 3.04

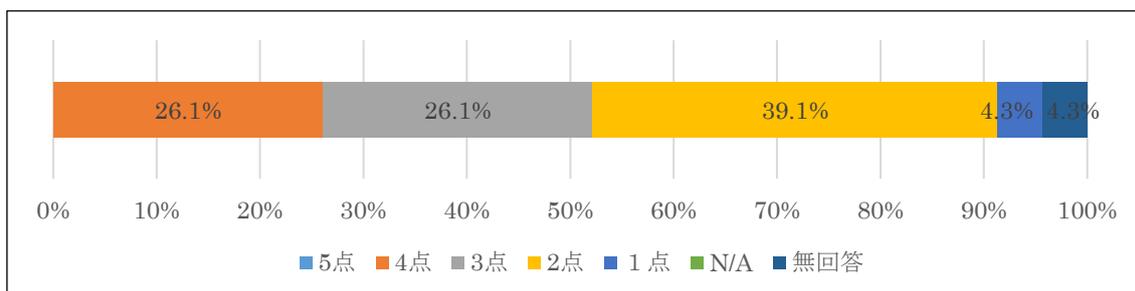


2-4. 図書館員は、学習・教育・研究を支援する重要な職種としてコミュニティ内で実質的に期待されている。 (5 点満点)・・・平均 2.96



2-5. 司書職は、図書館経営とレファレンスサービス等の専門的サービスを担う重要な専門職としてコミュニティ内で実質的に期待されている。

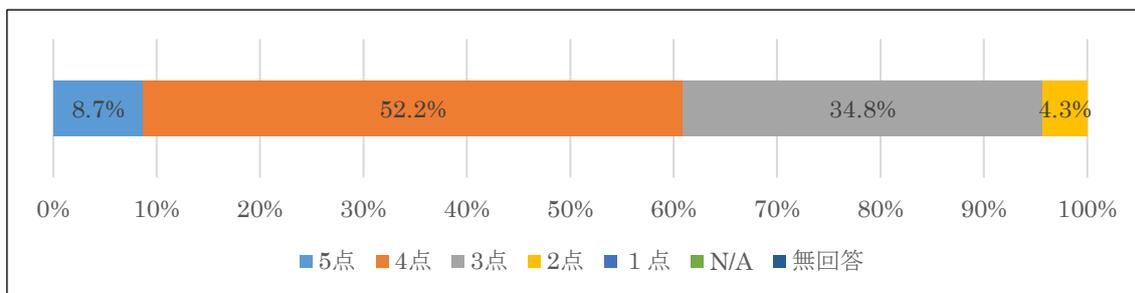
(5 点満点)・・・平均 2.77



## ■ 対応・広報編

2-6. カウンターでの対応では親しみやすい人物、高い専門能力を積極的に印

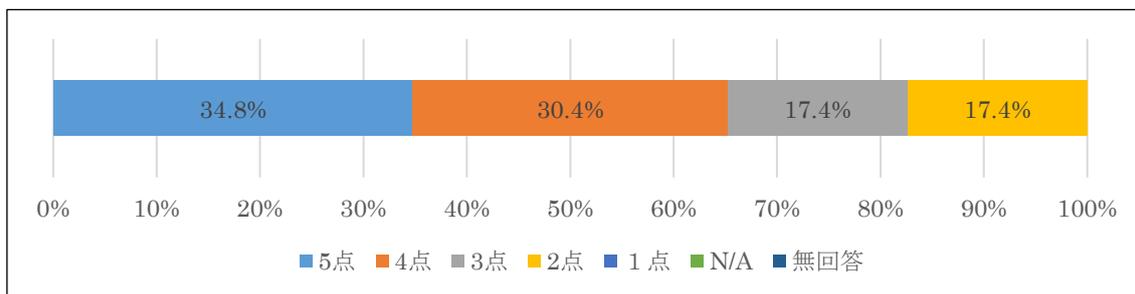
象づけるようにしている。 (5 点満点)・・・平均 3.65



2-7. リクエストの利用を積極的に勧めている。

選書の一環としての位置づけ、可否基準の柔軟な運用、回答の匿名・筆名可など

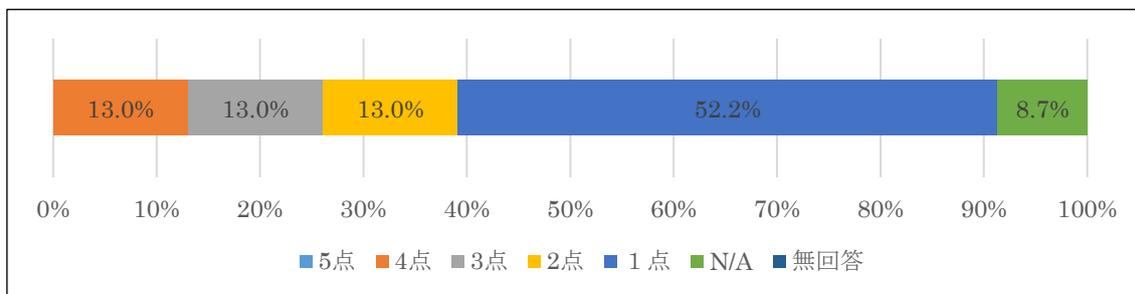
(5 点満点)・・・平均 3.83



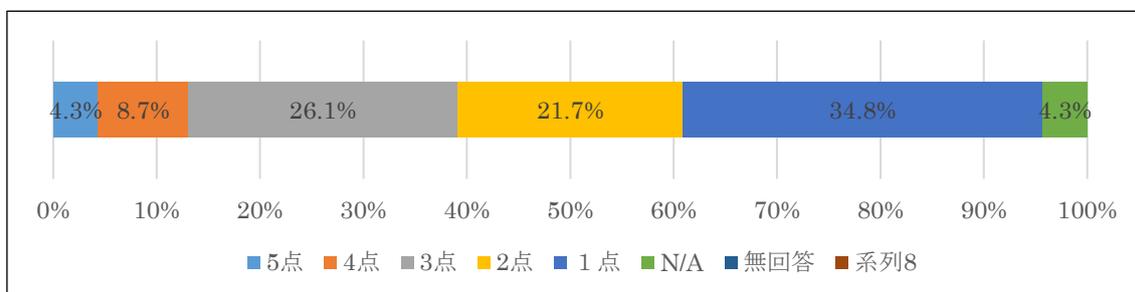
2-8. 投書箱をコミュニケーションツールとして積極的に活用している。

匿名可の用紙、目立つ壁面に回答、交流の場などの位置づけ

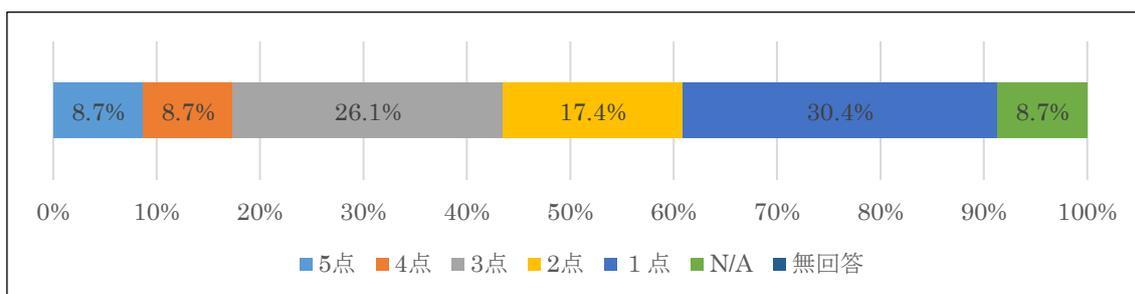
(5 点満点)・・・平均 1.86



2-9. 利用案内は、活字だけでなく、手書きのイラストを多用した親しみやすいビジュアルにしている。 (5 点満点)・・・平均 2.23

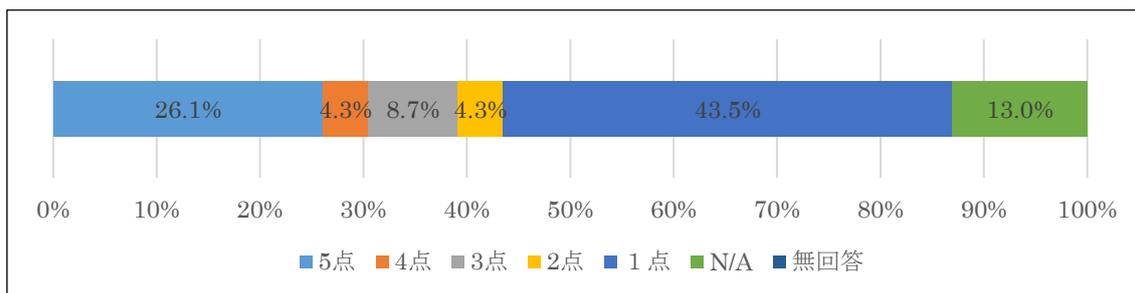


2-10. 館報（ニュース）は、活字だけでなく、手書きのイラストを多用した親しみやすいビジュアルにしている。 (5 点満点)・・・平均 2.43



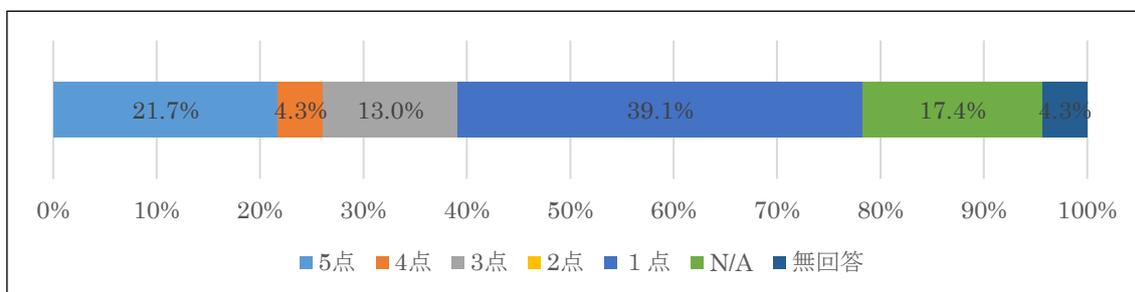
2-11. 図書館独自のキャラクターを作成している。

(5 点満点)・・・平均 2.60



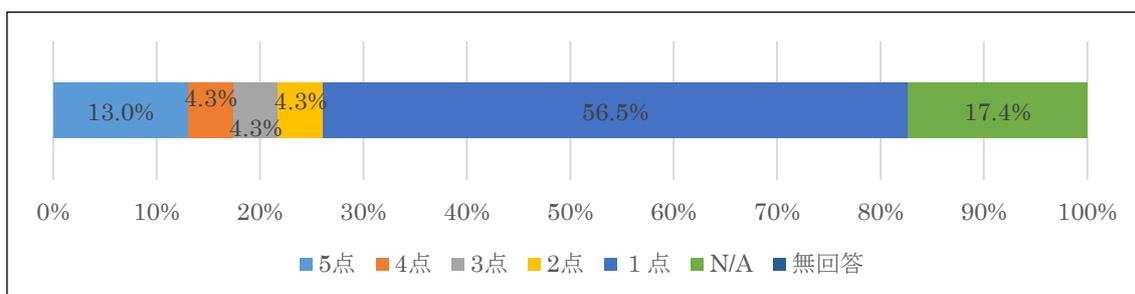
2-12. 図書館独自のグッズを作成して、配付・販売、活用している。

(5 点満点)・・・平均 2.61



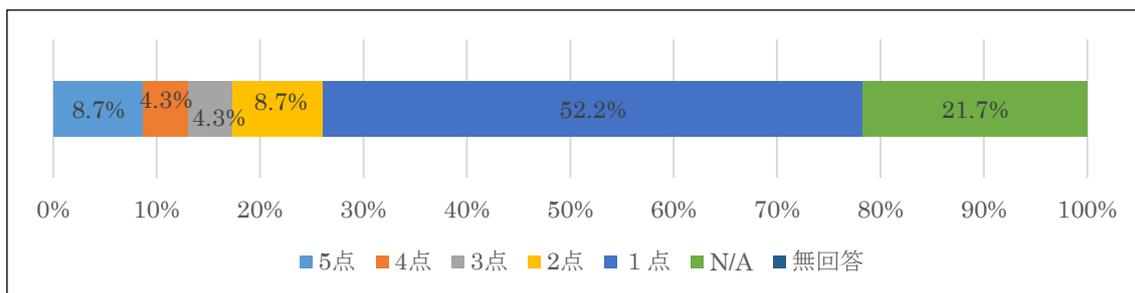
2-13. 図書館独自のロゴマーク・シンボルマークを作成している。

(5 点満点)・・・平均 1.95



2-14. ロゴマークやシンボルマークを広報印刷物に刷り込んでいる。

(5 点満点)・・・平均 1.83

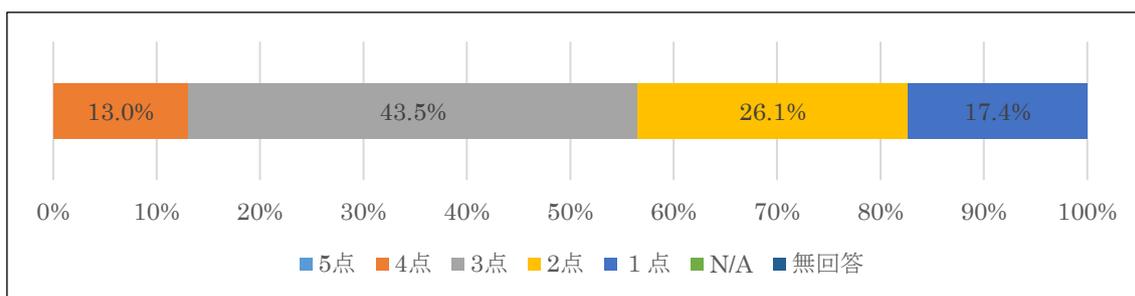


## ■ 設備・配置・サイン

2-15. 施設・設備は身体的精神的障がい者など少数者への配慮が十分になされている。

読書以外の利用の許容、カウンターからの死角のゾーンをあえて作るなどの配慮を含む

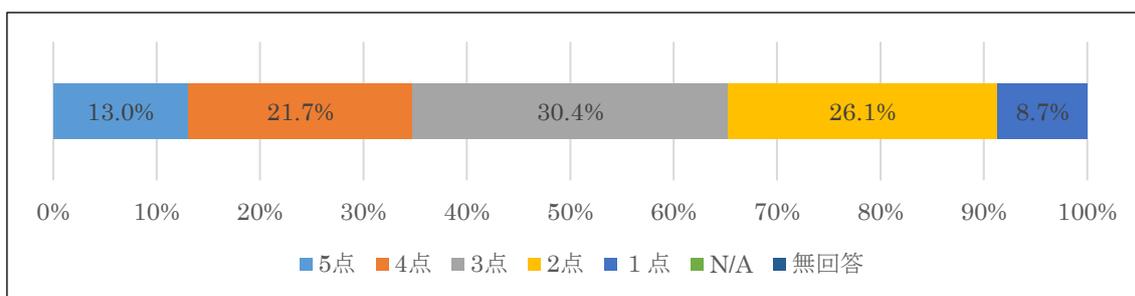
(5 点満点)・・・平均 2.52



2-16. サインの基板（プレート）の大きさ、色、文字の書体、色、大きさなどが、周辺的环境内で目立つよう、判読しやすく、緻密にデザインされている。

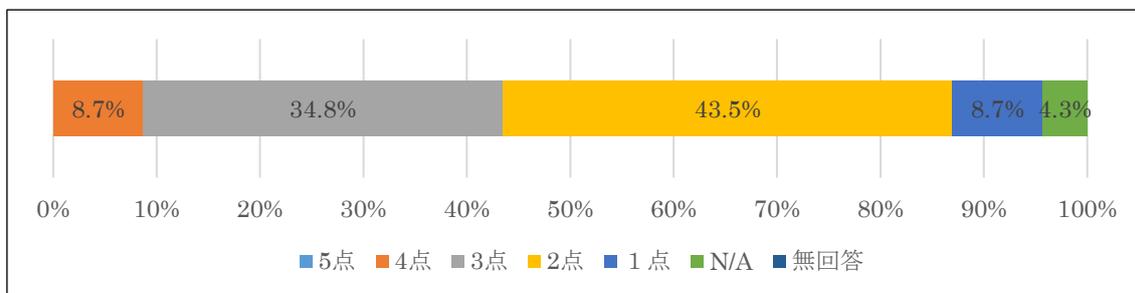
入口前の廊下側の床置き型サイン、館内の配置図、書架分類見出しなど

(5 点満点)・・・平均 3.04



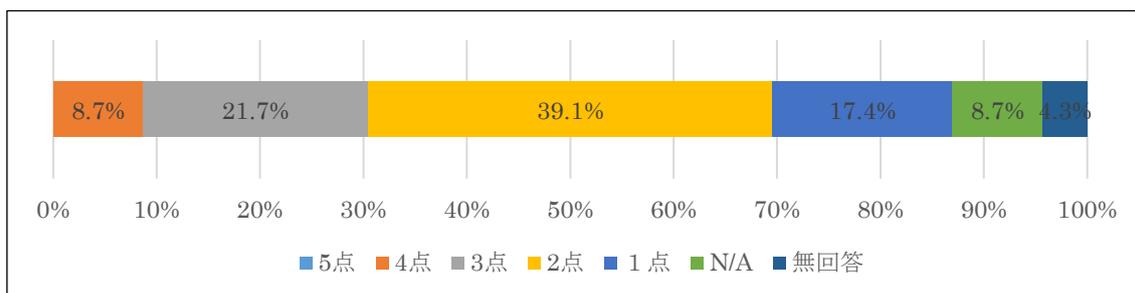
2-17. 統合的なデザインコンセプトが一目で伝わるように、各種媒体が総合的に企画・管理されている（カラーリング、書体、形など）。

(5 点満点)・・・平均 3.83



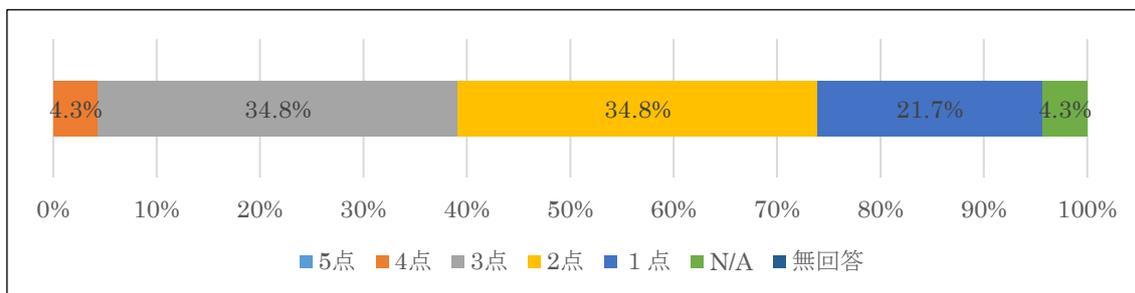
2-18. 全アイテムについてビジュアルデザインに一貫したポリシーがあることがわかる。

(5 点満点)・・・平均 2.25

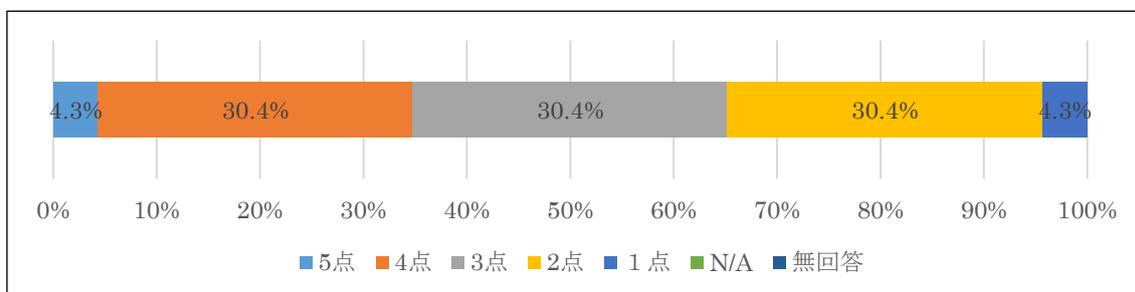


2-19. 各アイテムごとに、シリーズ展開の全体像が一目瞭然になっている。

(5 点満点)・・・平均 2.23



2-20. 文字ばかりでなく、図・表・写真・イラストを多用して理解しやすい配慮が行き届いている。 (5 点満点) . . . 平均 3.00



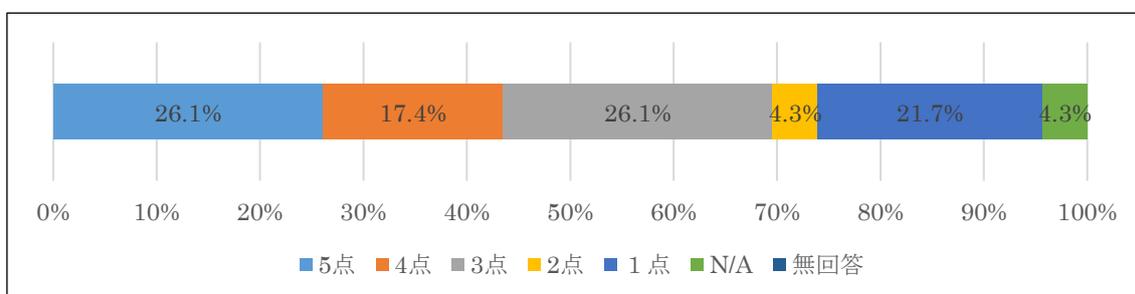
■ 図書館利用教育

図書館利用教育ガイドラインの5領域（印象づけ、サービス案内、情報探索法指導、情報整理法指導、情報表現法指導）を総合的に企画・実施すること

2-21. ガイダンス・オリエンテーションを主なサービス対象者向けに実施している。

学校なら新生、新任教職員、公共なら市民など

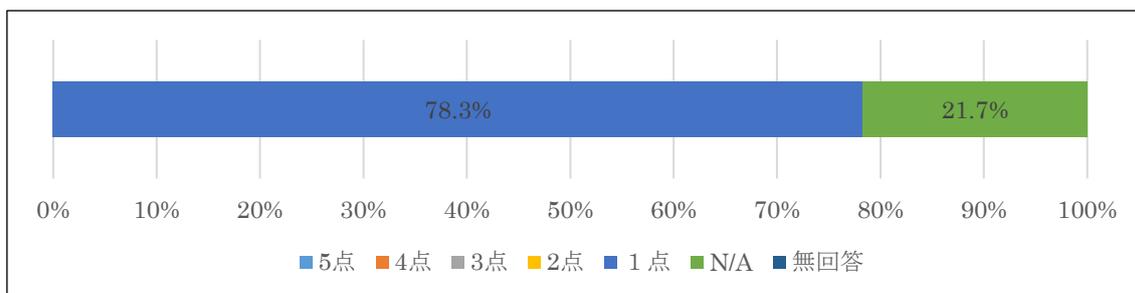
(5 点満点) . . . 平均 3.23



## 2-22. ガイダンス・オリエンテーションを組織の管理職を対象に実施している。

公共なら首長、役所管理職、学校なら校長・教頭、学長・学部長・教務主任など

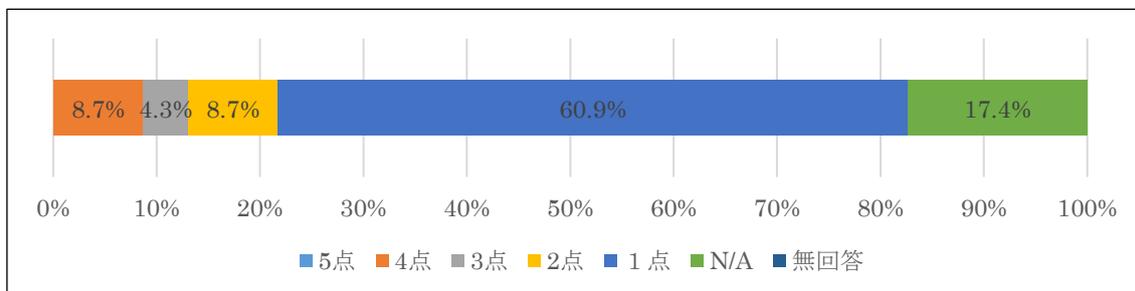
(5 点満点)・・・平均 1.00



## 2-23. ガイダンス・オリエンテーションを親組織のスタッフを対象に実施している。

公共なら役所職員、学校なら職員など

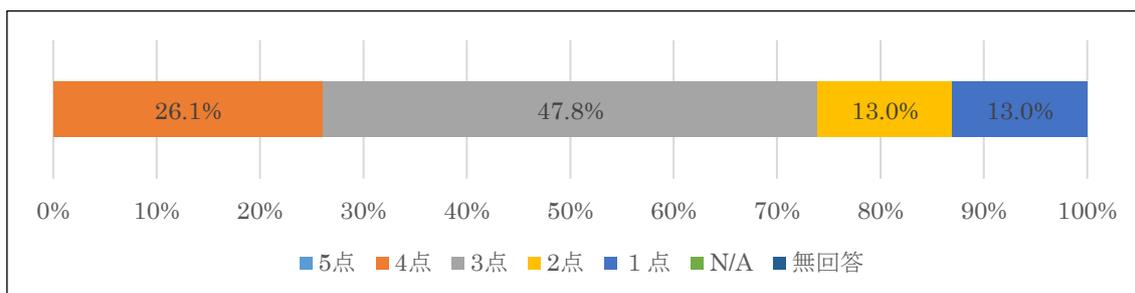
(5 点満点)・・・平均 1.53



## 2-24. 学習・教育活動を積極的に支援している。

コミュニティ内の各種機関や個人による授業・ゼミ・勉強会・研究会等

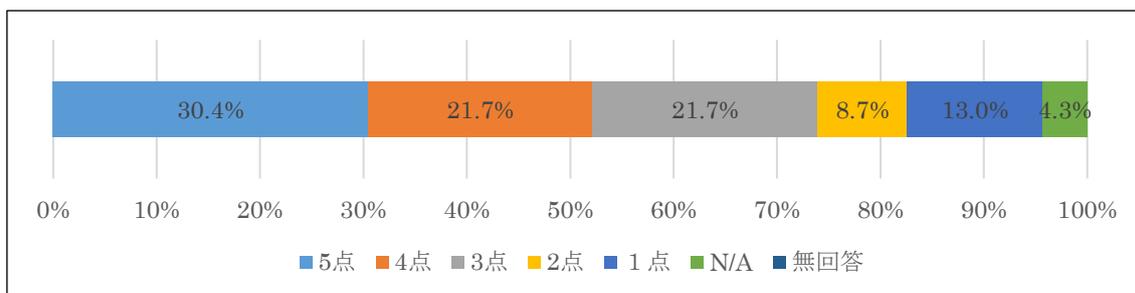
(5 点満点)・・・平均 2.87



2-25. 新着図書案内では、著者名、書名だけでなく出版社、出版年まで記載している。

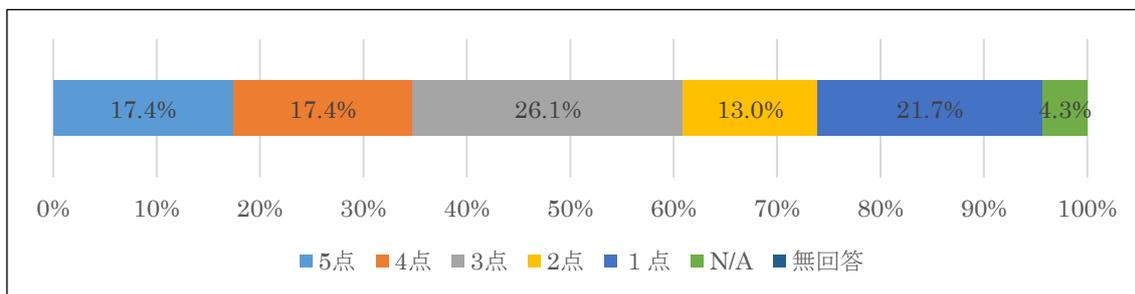
書誌要素という概念を指導するため

(5 点満点) . . . 平均 3.50



2-26. 図書館独自の課外イベントなどを積極的に実施している。

(5 点満点) . . . 平均 2.95



## 【2】自分ブランディング編（各種図書館版）

あなたご自身について率直に回答してください。

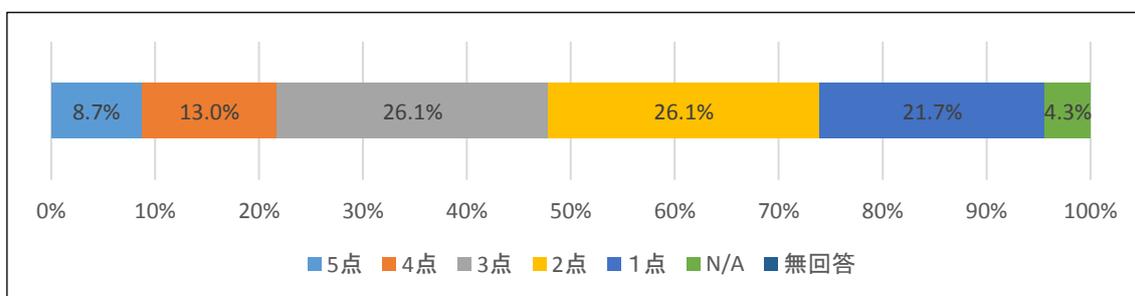
\*この設問は、2012.11.21-図書館総合展トサケンフォーラム「自分ブランディング検定」その1 「情報の達人=指導の達人」編（ベータ版）（主に大学図書館を想定）をベースにしたものです。

### ■ パソコン操作力

#### 3-1. ショートカットキーを日常的に活用している。

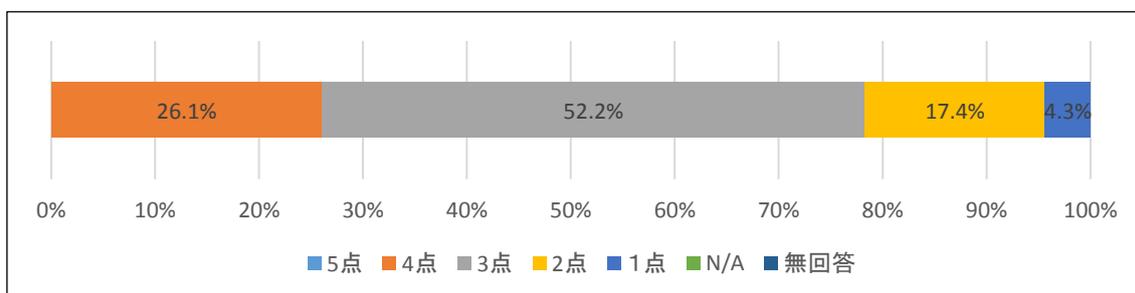
（行頭へ、行末へ、文頭へ、文末へなど、画面上でのカーソルの移動や、文字列のコピーや貼り付けなどの操作）

（5 点満点）・・・平均 2.59



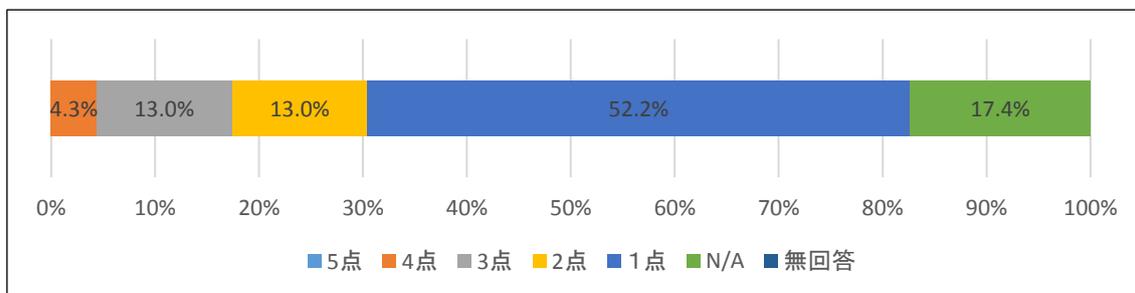
3-2. 会議用の企画書やイベント宣伝用チラシなどを WORD などで作る際は、簡潔明瞭、図解、見出し、レイアウト、美しい、承認したくなる等の条件をクリアするレベルで、手早く処理している。

（5 点満点）・・・平均 3.00



3-3. イベントの参加申込受付では、申込と受付の手間を省くため、ファクスやメールではなく、ウェブアンケートフォームを活用している。

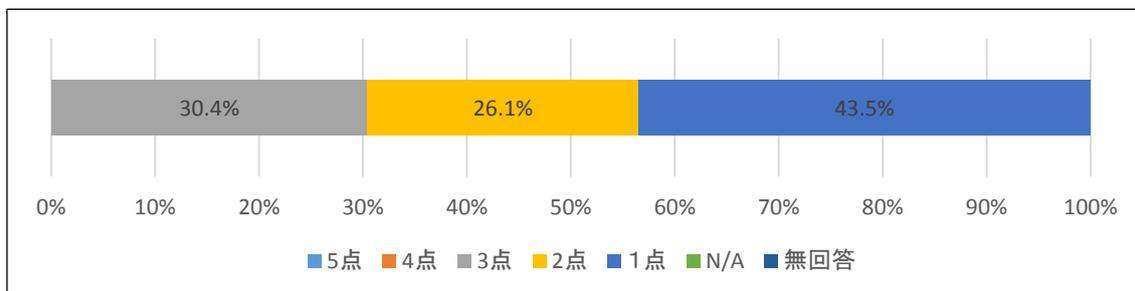
(5 点満点)・・・平均 1.63



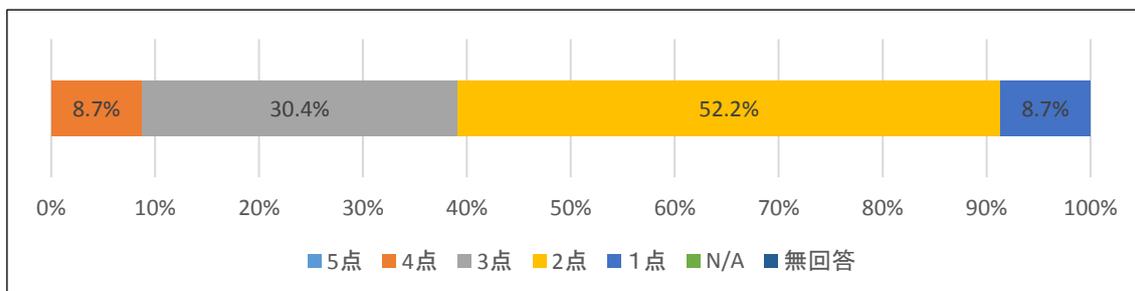
#### ■ 企画演出力

3-4. オリエンテーション（ガイダンス）、講習会などのイベントの冒頭にプロローグとして、動画や画像、ジョークなどでツカミの演出を入れている。

(5 点満点)・・・平均 1.87

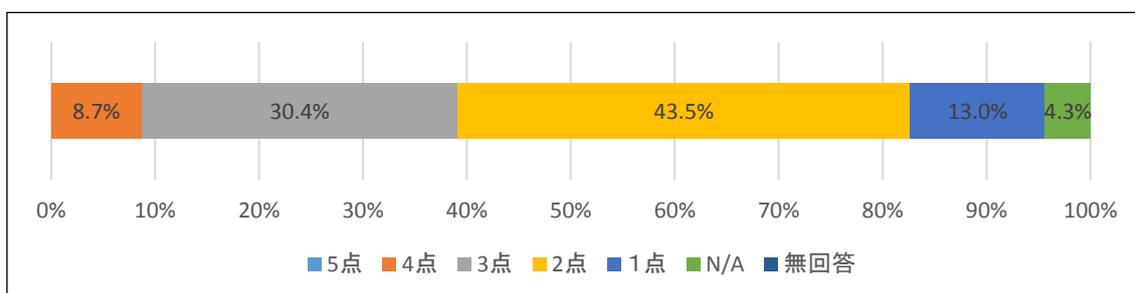


- 3-5. 利用者や管理者・関係者の目に触れる場面では、図書館員の専門性や、サービスのプロとしての能力・姿勢を強くアピールするよう、配付物や自分自身の見せ方を工夫している。 (5 点満点)・・・平均 2.39

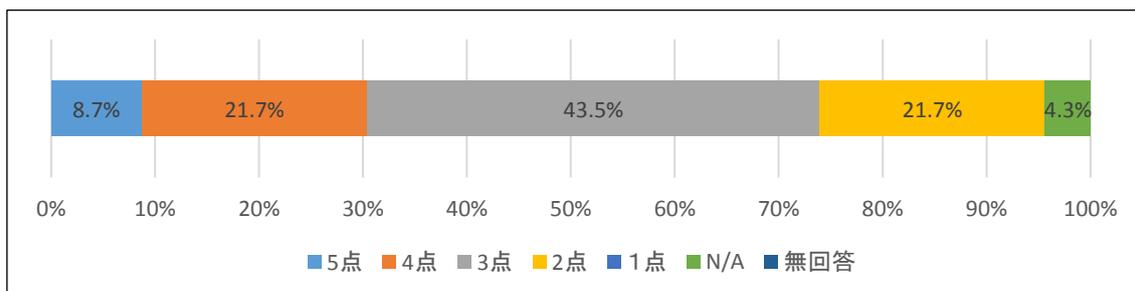


#### ■ 情報探索法の指導力・説明力

- 3-6. 指導場面の条件・状況に応じて、対象者が興味を持って楽しく学べる、効果的な「良い例題」を用意している。 (5 点満点)・・・平均 2.36



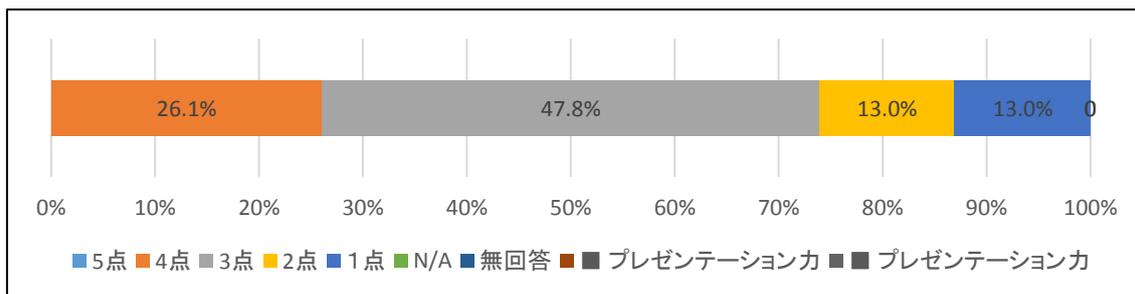
- 3-7. 「読みにくくてすみませんが…」 「あまり適当な例ではないかもしれませんが…」などの言い訳的な禁句を使わないよう意識して説明している。 (5 点満点)・・・平均 3.18



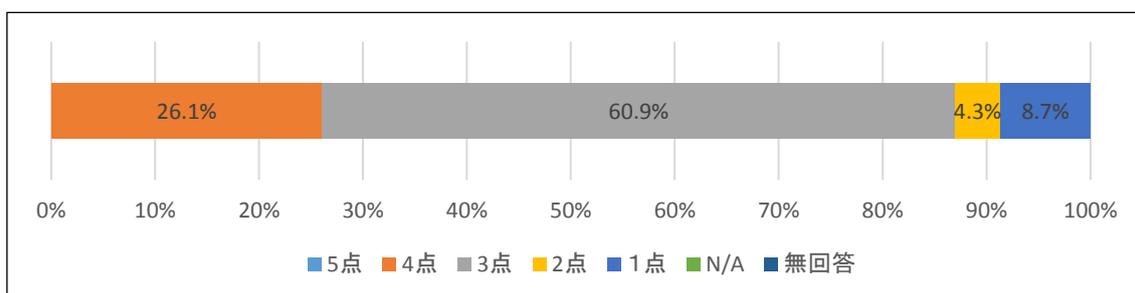
## ■ プレゼンテーション力

3-8. 文字や画像を投影する場合は、最後列からでも判読できる十分な大きさと情報量になるよう、意識して調整している。

(5 点満点) . . . 平均 2.87

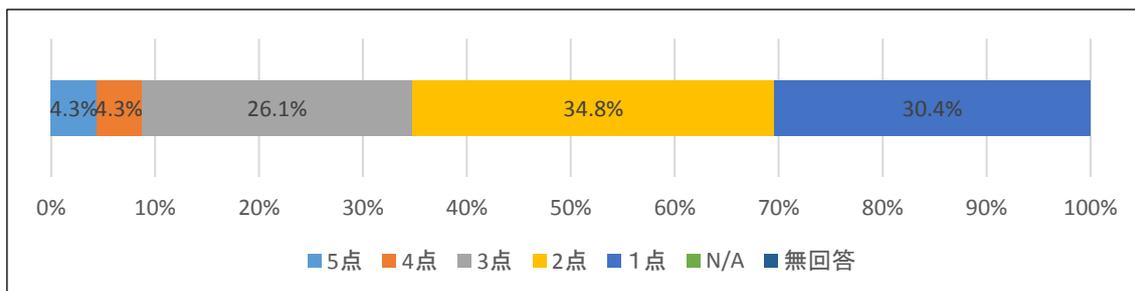


3-9. 前を向いて、利用者・参加者の様子を見ながら、堂々と、笑顔で、わかりやすく、臨機応変に、説明している。 (5 点満点) . . . 平均 3.04



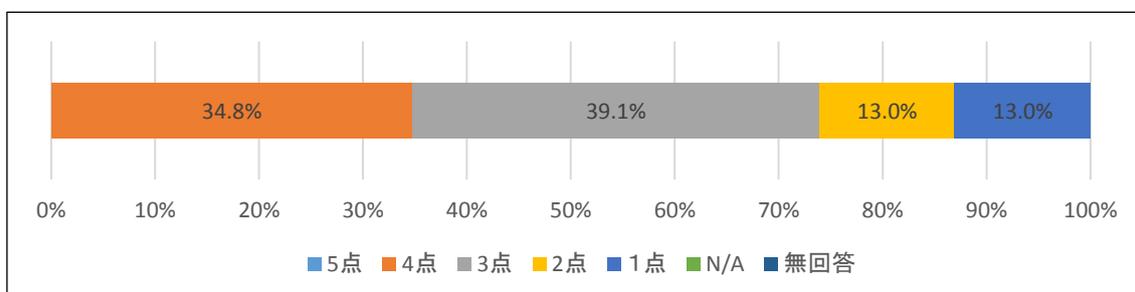
## ■ 積極性

3-10. 館内外の会議や各種イベントでは図書館と図書館員の存在感を訴求するべく積極的に参加・発言・アピールしている。特に研修の質疑応答の時間には、最初に挙手している。 (5 点満点)・・・平均 2.17



## ■ 自己アピール力

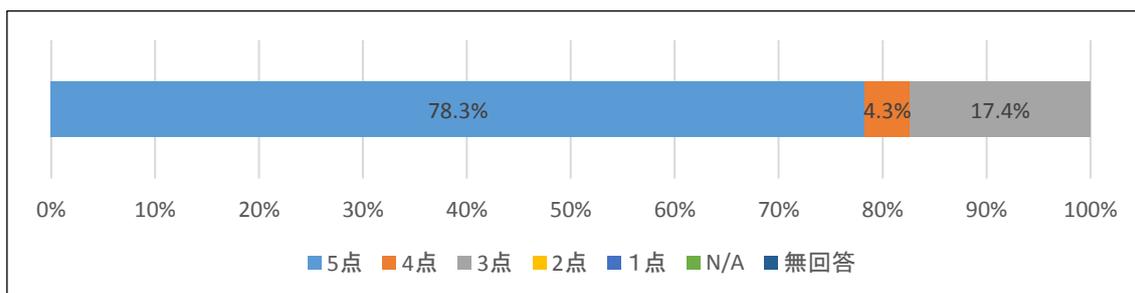
3-11. 職場では図書館と図書館員のイメージを意識して服装を選んでいる。 (5 点満点)・・・平均 2.96



3-12. 職場では名札を着用している。

図書館などの所属、司書などの職名、ロゴマークなど入り

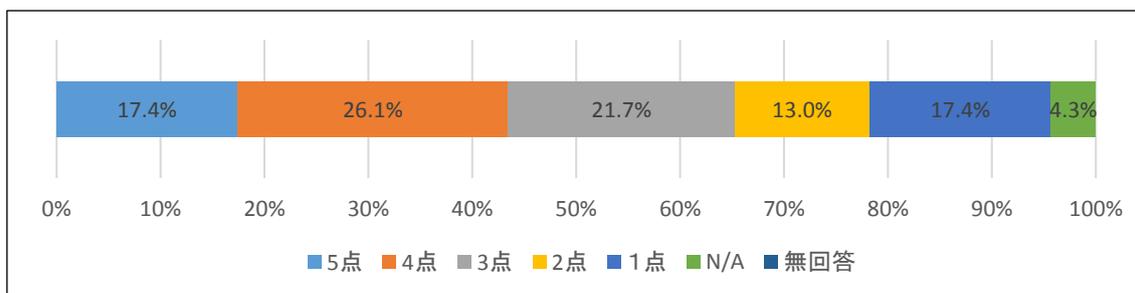
(5 点満点)・・・平均 4.61



3-13. 職場の名刺を作成し、出会った人に自分を覚えてもらいコンタクトする  
ために積極的に配布・交換している。

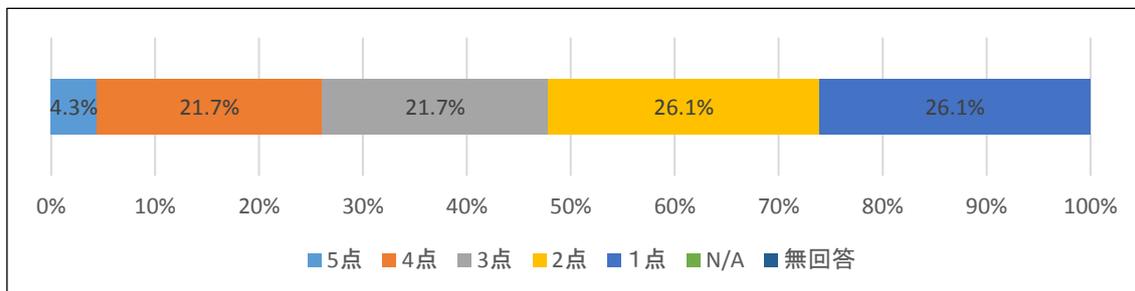
図書館などの所属、司書などの職名、ロゴマーク、メールアドレスなど入り

(5 点満点)・・・平均 3.14



3-14. 図書館員としての自分の名前と人物がコミュニティ内で広く認知される  
よう機会あるごとに積極的にアピールしている。

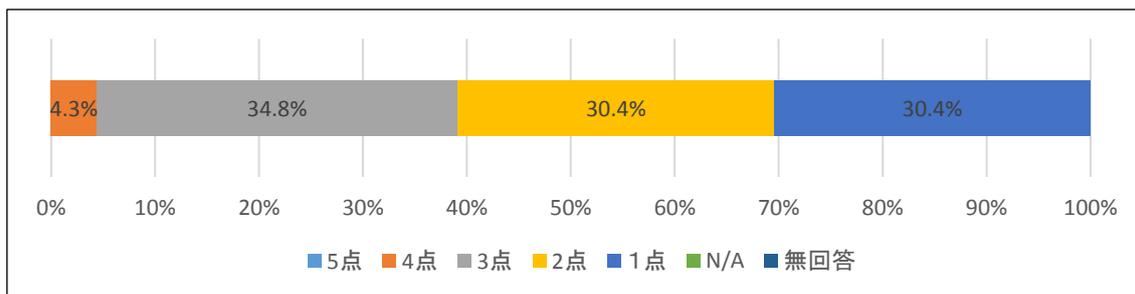
(5 点満点)・・・平均 2.52



## ■ 人脈力

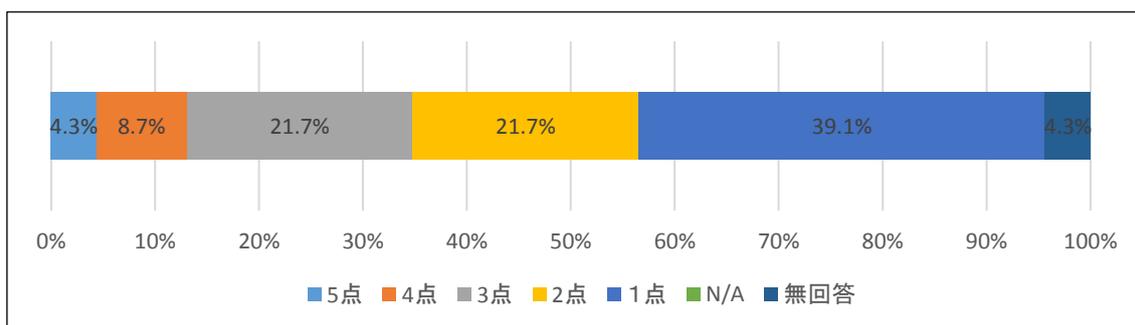
3-15. 営業担当の意識をもって自分自身のキャラクターを前面に押し出してコミュニティ内外の行事に積極的に参加している。

(5 点満点)・・・平均 2.13



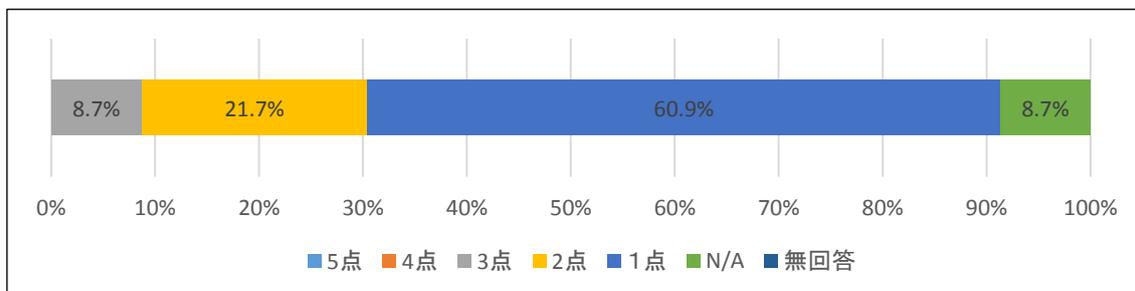
3-16. 地域の図書館関係者の私的な勉強会・研究会・懇談会に参加している  
(主催も含む)。

(5 点満点)・・・平均 2.14



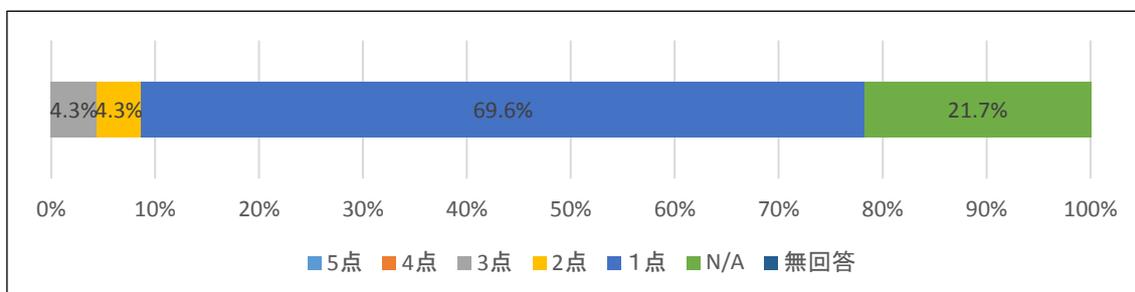
3-17. 地域の市民・実業界関係者の勉強会・研究会・懇談会に参加している。

(5 点満点)・・・平均 1.43



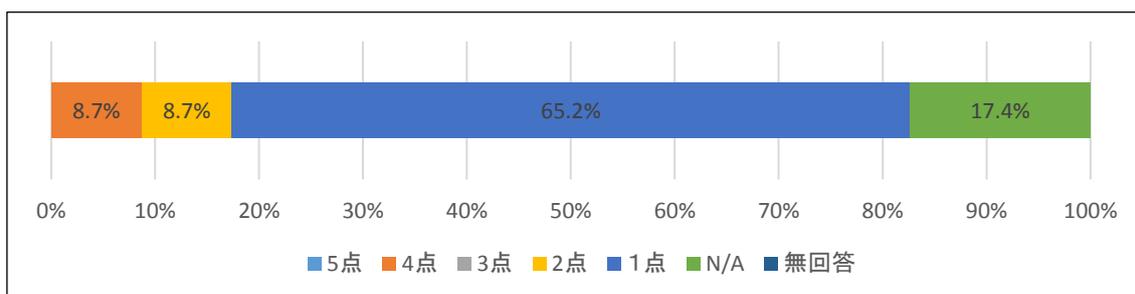
3-18. 地域の図書館界の友人知人とメーリングリストを作って活用している。

(5 点満点)・・・平均 1.17



3-19. 地域を超えた図書館界のメーリングリストに参加して情報収集し積極的に発信している。

(5 点満点)・・・平均 1.42

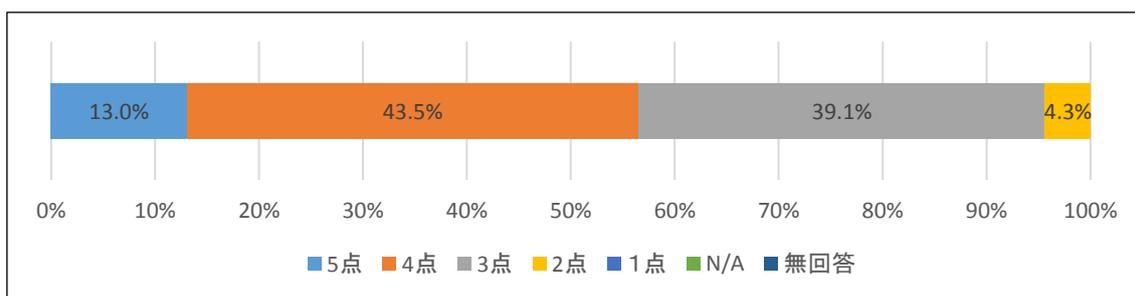


#### 【4】改善の課題

ブランディングを実践しようとする（した）とき、どのくらい賛同・協力・支援を期待できますか？

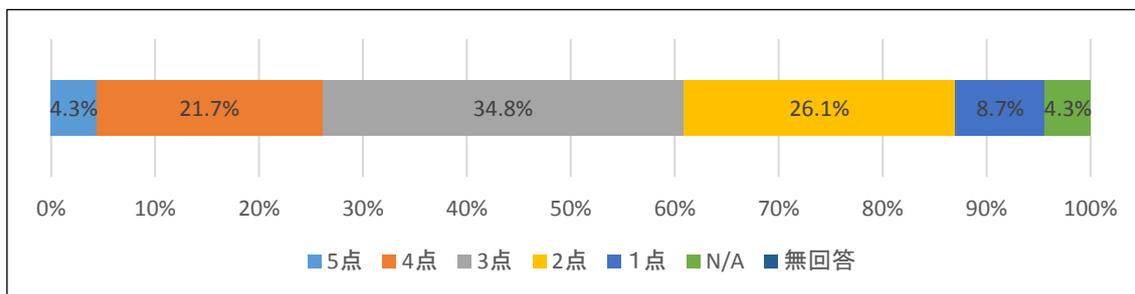
##### 4-1. 同僚・部下

(5 点満点)・・・平均 3.65



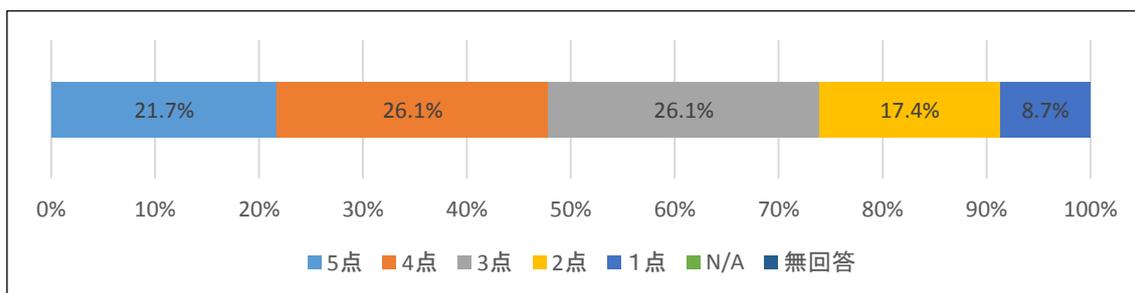
##### 4-2. 管理職

(5 点満点)・・・平均 2.86



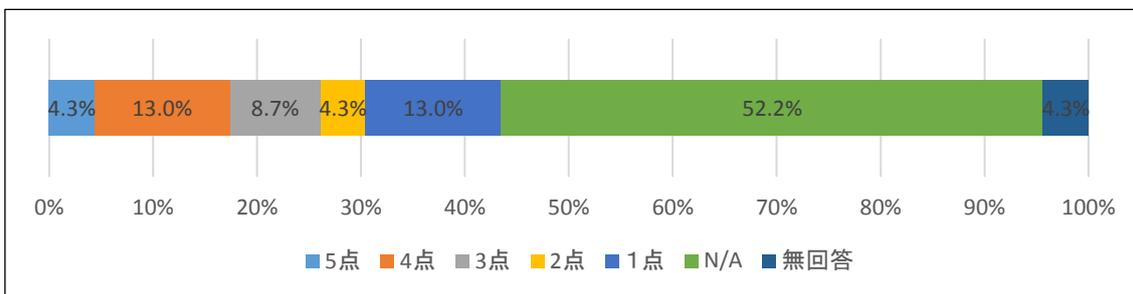
##### 4-3. 館長

(5 点満点)・・・平均 3.35



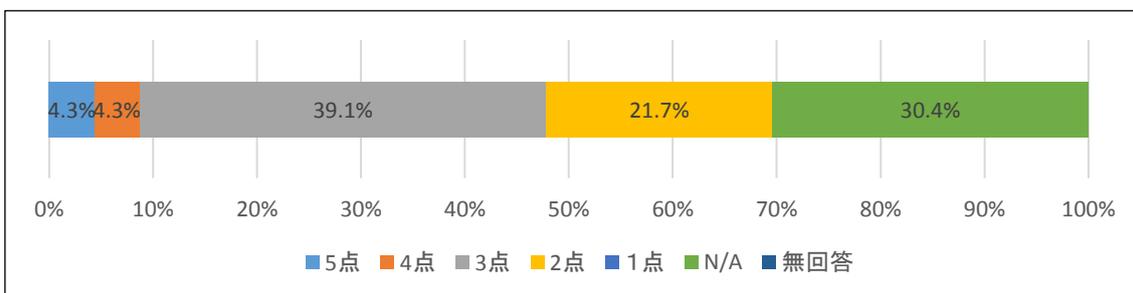
4-4. 副館長

(5 点満点) . . . 平均 2.80



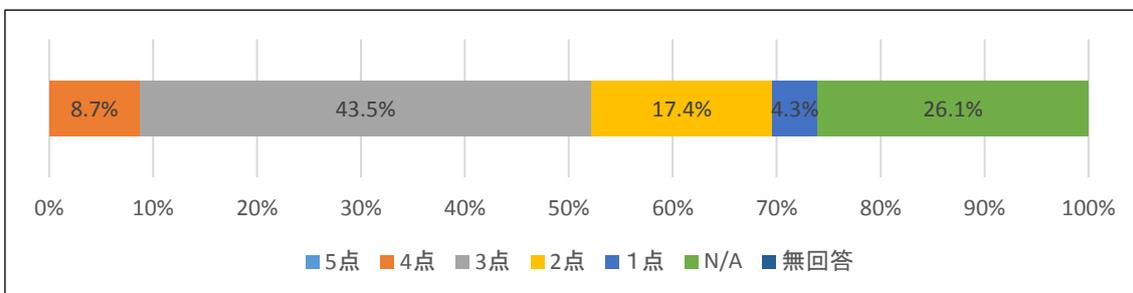
4-5. 図書館協議会等の委員

(5 点満点) . . . 平均 2.88



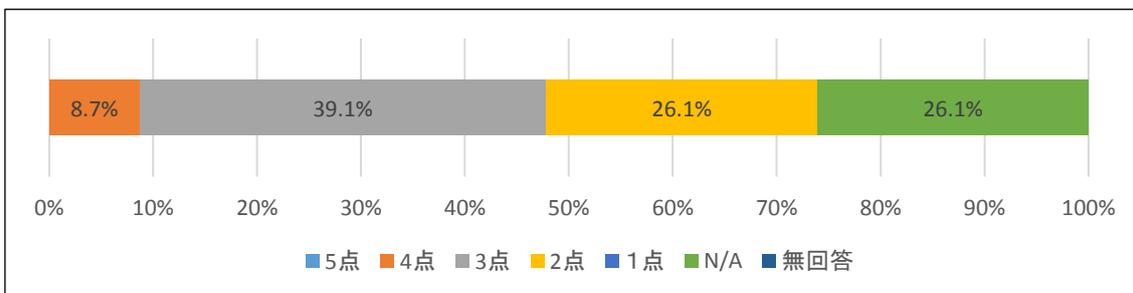
4-6. 親組織の長

(5 点満点) . . . 平均 2.76



4-7. 親組織のスタッフ

(5 点満点) . . . 平均 2.76



#### 4-8. ブランディング推進のネックは何だと思えますか？

- 周囲の協力
- 組織の支援（協力体制）
- 図書館職員を始め、組織の方が同じ意識を持つこと、価値観の統一。
- 企画力、時間、費用
- 職員の共有認識が欠けている
- 人材不足
- 上司の理解、協力と予算
- こちらの提供したいものと利用者の求めるものがマッチングするかどうか不確定な部分がある。
- 図書館のブランディングが必要だと図書館員自身が思っていないし、また、周りからも思われていない。
- 図書館サービスがブランディングに必要な絶対的な価値を持てるか、そのサービスを維持するための人の育成
- 予算
- 図書館職員の総合的・専門的能力向上、プレゼンテーション力の向上、予算、協働
- 図書館の重要性が一部の教員・職員のみにはしか認識されていないように思われる。図書館からの、学内他組織に対しての情報発信力も弱い。また、そういったことに注力する余裕がない。
- 図書館職員の意識改革
- 爆発力
- アイデアと経費
- 職員同士の図書館に対する意識の統一

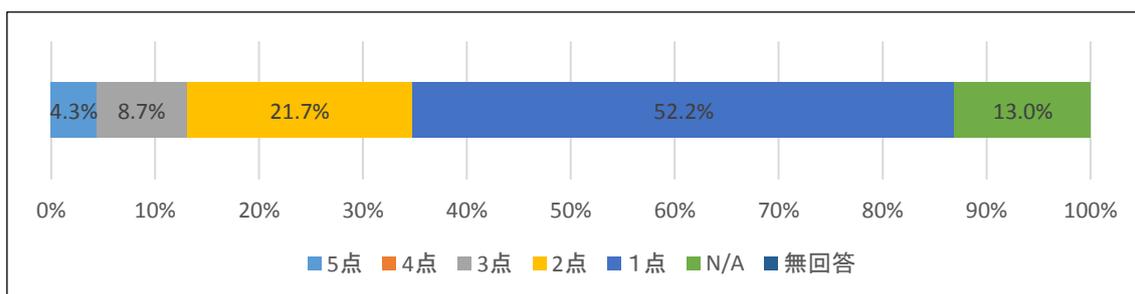
## 【5】自習状況

以下の図書を読みましたか？

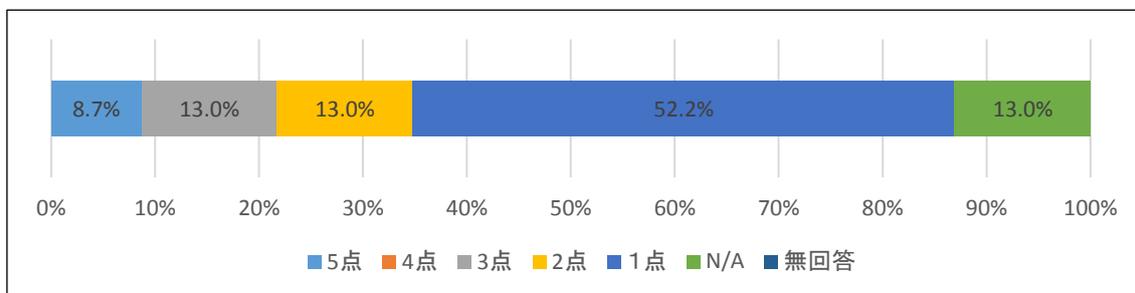
知らない、読んでいない場合は「1点」

読んで活用している場合は「5点」

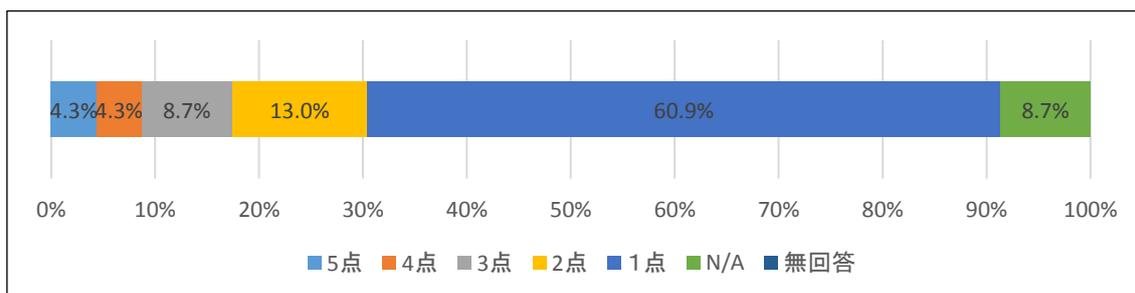
5-1. 『図書館利用教育ガイドライン（合冊版）』日本図書館協会図書館利用教育委員会編、日本図書館協会、2001 (5点満点)・・・平均 1.65



5-2. 『図書館利用教育ハンドブック（大学図書館版）』日本図書館協会、2003 (5点満点)・・・平均 1.85



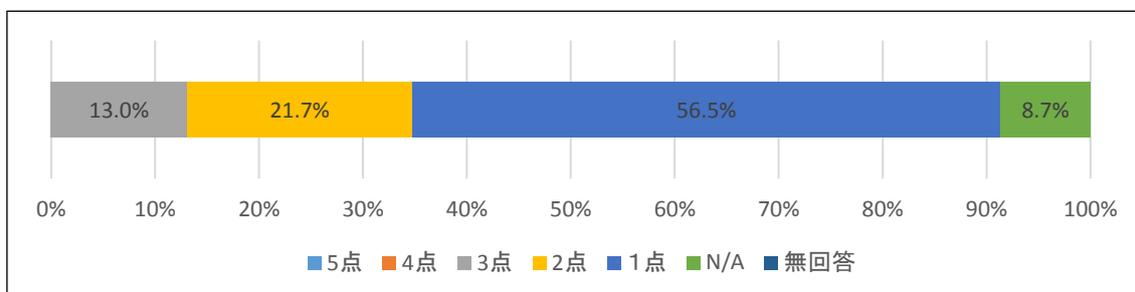
5-3. 『問いをつくるスパイラルー考えることから探究学習をはじめよう！』  
日本図書館協会、2011 (5点満点)・・・平均 1.67



5-4. 『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開をめざしてー』日

本図書館協会発売、2002

(5 点満点)・・・平均 1.52



## 【6】事前課題について

必ず、読了後に回答してください。

◎課題文献

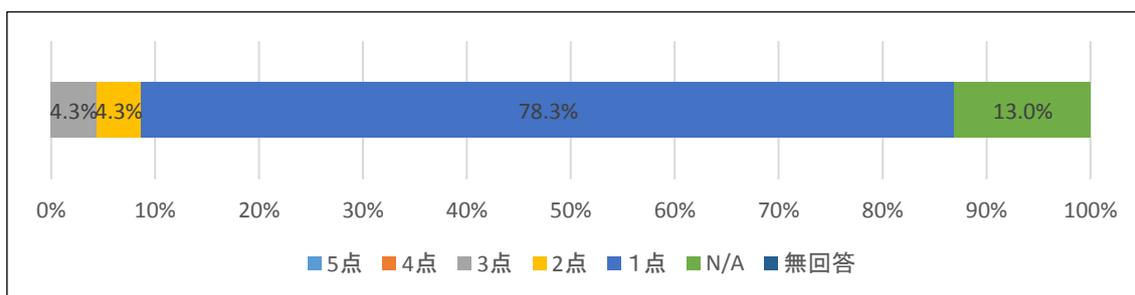
仁上幸治. 研究文献レビュー「図書館の「広報」は進化しているか？

—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—

『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24.CA1728

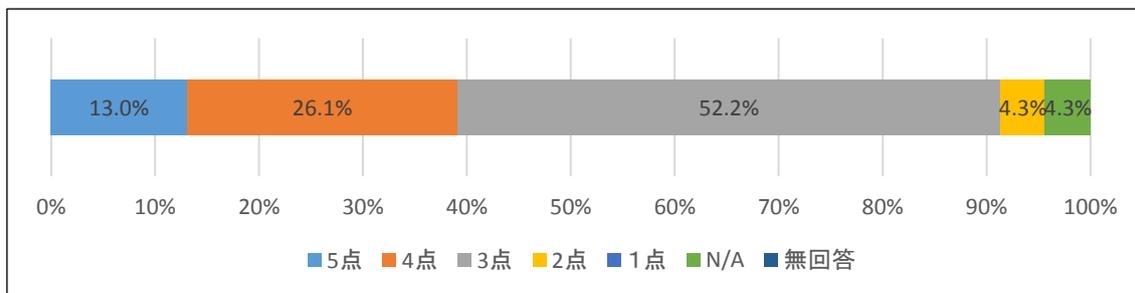
### 6-1. 課題論文を以前に読んだことがありますか？

(5 点満点) . . . 平均 1.15



### 6-2. 課題論文は業務改善に役立ちましたか(役立ちそうです)か？

(5 点満点) . . . 平均 3.50



### 6-3. 上記の論文についての感想など。

- 「広報」の意義を改めて考えさせられた。
- 利用者に有効活用してもらえる案を考えているが、行き詰っていた。図書館をPRする方法が多様にあることが分かり、注釈にある参考文献を参考にして、自館にも取り入れたいと思った。
- 読みやすい論文だった。最初の問題提起の広報は何を誰にどうしようとしているのかという基本的なことを再度意識するきっかけとなった。
- 自分の担当しているコーナーやイベントだけの広報でなく、図書館総体としてのPRが必要だと感じた。
- 2010年の段階での「広報」の状況がよくわかりました。単発ではなく、『史学雑誌』の

「回顧と展望」号のように、数年に一度でいいので、特定のテーマごとに研究文献のレビューを定期的に『カレントアウェアネス』で掲載してくれると非常にありがたいと思いました。

- 図書館のPR活動にも様々なやり方があることを知った。どのように図書館をPRすればよいか、正直わからない。図書館の良さを生かしたPRの仕方を知りたいと思った。
- 現在、広報というものがあまりできていないので、様々な実践事例報告を参考に今後活かしていきたいです。
- メインとなる利用者が医学関係者であり限定される部分も多いが、活用できそうなものは取り組んでいきたい。
- 「広報」の広義の定義を改めて確認することができ、良かった。
- 「広報」の概念を再認識することができた。実践についての様々な実践を知ることができて勉強になった。
- 「広報」と聞けば、図書館より発行する広報冊子やホームページ等を想像しがちであるが、それは組織から利用者への一方的な「お知らせ」であること。一方的な情報の告知を行うだけではなく、それぞれの館で創意工夫を凝らし戦略的PRを用いた「広報」をステークホルダーに対して、行っていくことが、現在の図書館の在り方を確たるものとするために必要であることを学ぶことができた。自分は広報誌作成の業務を担当しているが、この論文を読んで基本的には「お知らせ」の部分の一端を担っているに過ぎない。当館では情報リテラシー教育やグッズの無料配布などを別の担当者が行っている。自分も広報誌作成にとどまらず、その他にもPRとなりうる材料を見つけ試行錯誤し、自館にとって有益となる広報業務を実現したい。
- 図書館における広報の必要性について実感できた。
- 図書館の広報と一言と言っても多くの事例があり、広報の方法について積極的に勉強をしてこなかったことに気が付かされました。
- 自分の勉強不足を痛感しました。注の文献で、これは読まねば、と思ったものがいくつもあったのですが、現時点でまだ読んでいませんので、少しずつでも読んでいきたいと思っています。また、読むだけではダメなので、実践出来ることはないか、考えていかなければならないと思っています。
- 「広報のむずかしさ」の実感です。
- 定義とともに、それぞれの項目で何をすべきかがよくわかった。
- 論文内に挙げられていた事例は、意識的・積極的に図書館側から仕掛けていくものがメインだったと思います。ですが、図書館側ではないサイドの人による無意識の広報もあるのではないかと考えていました。TV番組に登場する文化財に添えられた「〇〇図書館蔵」という文字や、Twitterでつぶやかれた「図書館行ってきた」という一言や、映画に何気なく出てくる図書館のシーンを何気なく見ることは、普段図書館に関わりのない人が、無意識に図書館の活動を垣間見ることになっているのではないかと思います。広報では、どうしてもその分野に興味のある人に届きやすい情報の流れ方になってしまう面があると思います。その分野に興味のない人に届く広報をどのようにしていったら良いかを考えられれば、もっと図書館を知ってもらうことにつながるのではないかと思います。

#### 6-4. 「広報」関連で、現在の仕事について、自慢できる点、困っていること、ぶつかっている壁、今後の取り組み計画など。

- 学生に興味を持ってほしいイベントの配布物に対する効果的な声掛けを知りたい。
- 試験期間前などは多くの学生が利用するが、試験期間が終了すると学生も減る。図書館をよく利用する学生は限られているような気がする為、多くの学生に図書館に足を運んでもらいたい。図書館の有効活用法について、多くの学生に知ってもらいたい、良い方法が思いつかない。今年度、読書週間に合わせて、リクエストコーナーを設置し、本のリクエスト制度について学生に知ってもらう計画を立てている。
- 本学の広報誌は読みやすいことが自慢。今後は多くの学生、教職員、大学という組織、また外部の方に本学の図書館の存在を知ってもらうこと、そしてその上で必要性を認識する広報と活動を行いたい。
- チラシや市の広報、HP 等で広報を行っているが、市民に周知がうまくできていない
- 子どものイベントのネーミングを工夫する、とにかく工夫してポスターをつくる、配れるところにはできるだけ配布するなど苦心している。
- 映画やイベントとタイアップした企画展示を実施することで図書館の広報につなげているが、今一つマスコミに取り上げられていない。
- 展示、Twitter、フライヤー等の作成が以前より増加している。
- 広報に携わっていないので、わからない。
- 来年度から新図書館になるので、オリエンテーションの方法をいろいろと学びたいと思っております。
- 春先に図書館利用者数向上の一環として、掲示板に貼った地図にシールを貼付していただく形式で利用者に対する出身地調査を行ったところ、予想以上に回答いただき、一定の成果を得られた。
- 図書館からのお知らせの掲示物に、統一感を持たせている。ただ、旧来からの掲示物についてはまだ手を付けられていないので、今後、変更していく予定である。教授からたまに誘われた英会話の会に、英語は苦手だが参加している。そのおかげで、図書館の外ですれ違った際に声をかけてもらえたり、気楽に話をしていただけることが多少ではあるが増えた。また、図書館主催の情報検索講座では、担当の先生に事前に資料をお渡ししてコミュニケーションをとった。そのとき出た要望で、講座に反映できるものは反映させた。指導サービス専門家としてのスキルが全く足りないと感じている。図書館の悪い「広報」にならないよう、スキルアップしていきたい。
- 日常の業務に追われ、配布資料に創意工夫やオリジナリティを迫及できない。
- 図書館を普段利用しない層にどのように呼びかけていくかが課題となっている。
- 広報の方法がワンパターンになってしまっている（学内のメールで流す、ホームページに掲載する、館内に掲示をする、企画展示をするなど）。
- 学生全般を想定してやっていましたが、もっとターゲットを絞っての広報を考えた方が良いのかも知れないと考えています。
- 業務の優先順位でどうしても後回しになっている。
- がんばってHPを更新していますが、手探り状態なので、広報には何が効果的かを知りたいです。
- 学内で大学図書館のプロとしての業務を理解してもらうこと（特に幹部）

- Facebook や Twitter を利用した広報活動は魅力的だが、当館では実施していません。業務の多忙さを言い訳に、提案・話し合いは全くできていません。HP を各職員が自由に編集しているため、統一感がなくなっています（文字の大きさ・色、見出しの書き方等）。利用者がほぼ固定しており、多くの県民に「図書館」が浸透していない印象があります。図書館の場所も知らない人がいるため、まず図書館の存在自体を知ってもらうことが必要だと感じています。11 月 5・6 日に開催されるゆるキャラグランプリでのブース出展を予定しています（まだ、出展は決定されていません）。

## 6-5. 事前課題についての感想、疑問、研修に期待することなどなんでもご自由に。アンケートの設問と回答選択肢についての改良案も歓迎です。

- 今回の研修を経て、更なる広報力を得られることを期待しています。
- 私は、図書館業務に携わっている期間が短い為、知識も少なく経験もありません。今回、研修に参加して、広報の角度から大学図書館の在り方、大学職員の役目について学びたいと思っています。
- 上手くいったという具体例を多く知りたいと思います。
- 情報交流会では、CM やアニメ等映像で描かれる図書館像について、講師と語り合うとのことですが、愛媛県宇和島市が舞台となった映画「海すずめ」(<http://umisuzume.com/>) についてもぜひ語りたと思います。
- 質問数が多かった。インターネットが使えるときしか回答できないのは不便でした。
- 他の大学図書館がどんな広報活動をされているのかお話を聞けたら、と思います。
- 設問が多いと思う。
- 事前課題とアンケートのおかげで、研修前にテーマについて考えることができるとても良かった。アンケート内にあった図書については、自館に所蔵のあった書籍に関して、全て目を通すことができた。
- 広報業務は広報誌作成と企画展示しか担当しておらず日も浅いので勉強不足が心配ですが、有意義な研修になるものと期待しております。当日は何卒よろしく願い申し上げます。
- 図書館の広報に関する研修は受けたことがないので、研修のないようにとても期待しています。
- 恥ずかしながら、広報について積極的に勉強をしてこなかったのが、今回の研修に参加することによって視野を広げ、実際の業務に活かしたいと考えています。
- 2-1 と 2-14 のみ、回答選択肢の点の付け方が他の設問と反対(1 点が上)なのはなぜなのでしょう？
- もっと印象に残る広報の力を得たいです。
- 公立大学のように県や市の派遣職員や、専任職員数が少なく、ジェネラリストの場合、図書館職員をどうするか、より詳しく知りたい。
- 研修では、実践例をたくさんお聞きし、当館の現状に合った広報を考察できる要素を吸収して帰りたいと考えています。回答が遅れてしまい、大変ご迷惑をおかけしました。当日は、どうぞよろしくお願いいたします。

## 【7】講師の著書について

仁上幸治著『図書館員のための PR 実践講座』（樹村房, 2014 .11）  
の購入をご希望ですか？（予約部数を持参予定）

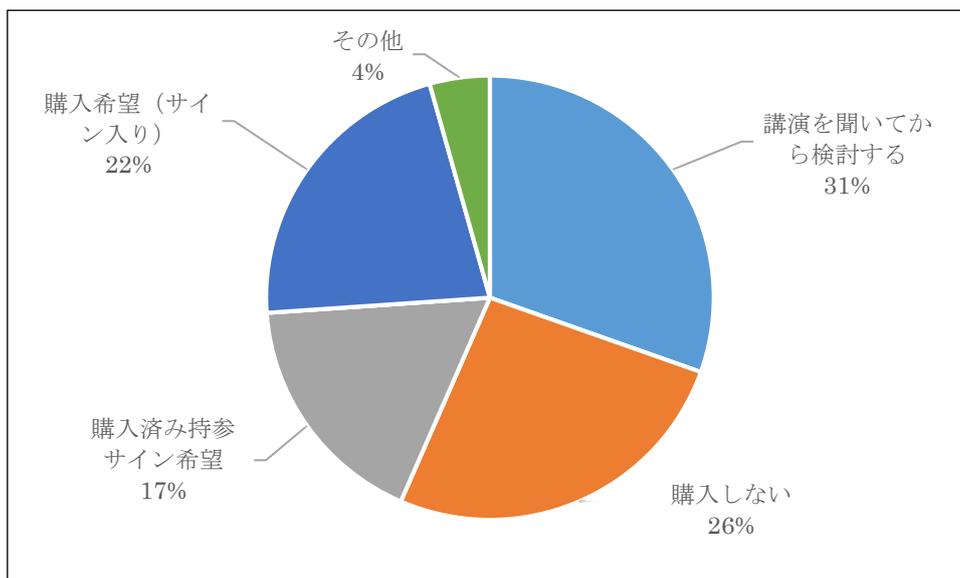
A5 判、120p、1,620 円（税込） ISBN：978-4-88367-239-4

[http://www.jusonbo.co.jp/kikan\\_shosai/01/kikan\\_shosai\\_01\\_49.html](http://www.jusonbo.co.jp/kikan_shosai/01/kikan_shosai_01_49.html)

当日限定、特別著者割引原価 1,300 円にて販売。サイン入り。

サインにお名前を記載しますので、できるだけ名刺をお持ちください。

### 7-1. 上記の最新著書の購入をご希望ですか？



（記録：泉（愛媛県立医療技術大学図書館）／2016.11.28）